大正五年三月第十七回專修科修了生　（四　人）　（成績順）

桑木崇明（東京）　玉木時哉（新潟）　外山高一（東京）　渡邊勝太郎（東京）

大正六年三月第十八回專修科修了生　（六　人）　（成績順）

原久一郎（新潟）　中村良之助（東京）　恒川助次郎（愛知）　渡邊秀一（東京）

岡部直三郎（廣島）　中村正明（埼玉）

大正七年三月第十九回專修科修了生　（十二人）　（成績順）

佐々木嘉吉（愛媛）　大高義尾（東京）　田代己代次（東京）　鈴木光三郎（福島）

須田正繼（山梨）　茂呂憲吉（東京）　香川正雄（岡山）　檜垣春三（廣島）

白石實三（群馬）　岡上守道（高知）　松本欽一郎（佐賀）　横本榮一（岡山）

大正八年三月第二十回專修科修了生　（八　人）　（成績順）

田澗誠一（東京）　園部正一（岐阜）　田島彰（愛知）　川井田尙（鹿兒島）

茂木剛三郎（東京）　關矢恕一（新潟）　大塚清（兵庫）　星榮三郎（宮城）

大正九年三月第二十一回專修科修了生　（六　人）　（ABC順）

秋本宗市（山口）　清岡博見（岩手）　永井誠也（京都）　山縣竹志（東京）

飯田武英（東京）　草野成一（福岡）

大正十年三月第二十二回專修科修了者　（九　名）　（ABC順）

藤田純三（三重）　中村譲（山梨）　白石信親（熊本）　高橋好三（埼玉）

布施政信（東京）　大友忠五郎（岩手）　鈴木孝敬（東京）　高桑榮詮（富山）

峰須賀寛雄（德島）

大正十一年三月第二十三回專修科修了者　（十二名）　（ABC順）

藤井三吉（群馬）　岩本嘉一（青森）　名越修（東京）　武山十一夫（東京）

福岡正生（北海道）　北島守（靜岡）　佐野英（山梨）　植松茂雄（大阪）

袋一平（東京）　松元國治（鹿兒島）　澤宣治（東京）　山崎嘉兵衞（東京）

大正十二年三月第二十四回專修科修了者　（八　名）　（ABC順）

古屋諦道（東京）　伊藤賢一（東京）　小島長一郎（東京）　中山貫一（鹿兒島）

原進四郎（山梨）　加唐鐵吉（東京）　三浦日出雄（青森）　中澤茂男（山口）

大正十三年三月第二十五回專修科修了者　（十七名）　（ABC順）

阿部英明（東京）　伊藤清忠（大阪）　松永正康（福島）　奥田貞樹（愛知）

朝野通（鹿兒島）　小林實（福島）　宗澤茂三郎（北海道）　稅所基彥（鹿兒島）

石田武平治（靜岡）　久々湊與一郎（北海道）　布川學而（新潟）　佐山慶次郎（栃木）

申　文休（朝鮮）　牛山　充（長野）
高橋正彥（廣島）　山田虎一（山口）　吉田秀一（東京）

大正十四年三月第二十六回專修科修了者（十一名）（ABC順）

青山　猛（愛知）　間庭秀文（東京）　山口省三（新潟）
島中象男（廣島）　大石勝郎（東京）　山村米藏（埼玉）　吉山　修（熊本）
堀井源助（東京）　大西久雄（東京）　島内志剛（高知）

大正十五年三月第二十七回專修科修了者（九名）（ABC順）

由村良一（愛知）　小林次男（東京）　岡野他家夫（富山）
淵田　博（北海道）　日下部武雄（岡山）　大野已之助（東京）
北島藍二（大阪）　松本道比古（三重）　西川　勇（福井）

昭和二年三月第二十八回專修科修了者（十七名）（ABC順）

江口貞雄（新潟）　春日雅雄（長野）　村山三郎（山形）　小野久國（東京）
江澤養之助（東京）　河崎正三（東京）　中村義德（神奈川）　大澤清三（青森）
蜂谷吉之助（岩手）　菰田得二（千葉）　成田梅吉（東京）　澤田斌夫（秋田）
檜山　茂（茨城）　松澤正人（長野）　大村三太郎（青森）　清水謙一郎（福岡）
板橋啓行（東京）

荒井豐吉（東京）　井川武秀（東京）　松井　潔（東京）　小野勝氏（青森）
朴　大鎬（朝鮮）　伊東元廣（北海道）　村木幸猛（東京）　佐多美佐雄（鹿兒島）
原　渉（福岡）　金　龜（朝鮮）　武藤友直（岡山）　山本意藏（滋賀）
廣島德四郎（神奈川）　松原之三（東京）　大西繁市（德島）　築取滿常（新潟）
堀　龍夫（山形）

昭和三年三月第二十九回專修科修了者（八名）（ABC順）

本庄修一（島根）　小林正雄（群馬）　大野幹一（新潟）　高橋定衞（群馬）
石若治男（大阪）　中川久造（東京）　鈴木彌太郎（山形）　山上榮藏（東京）

昭和五年三月第三十一回專修科修了者（八名）（ABC順）

伊藤義三（山形）　越田正吉（北海道）　田幸　博（長野）　宇野節郎（岡山）
上谷一雄（東京）　宮武佳辰（香川）　澁澤與一（新潟）　山口　壯（島根）

昭和六年三月第三十二回專修科修了者（十七名）（ABC順）

相澤　要（山梨）　千葉金司（青森）　成大勳（朝鮮）　水谷四郎（三重）
淺羽克郎（東京）　上森政二（富山）　馬上義太郎（東京）　永島恒造（神奈川）

鬼　春人（福岡）　齋藤恭平（新潟）
折山利一（長野）　澤田米次郎（高知）
齋藤　勇（東京）

昭和七年三月第三十三回專修科修了者（三名）（ABC順）

井上照丸（山口）　小松芳喬（東京）　千足高保（東京）
鈴木宗一郎（東京）　鈴木　博（東京）　津田重雄（茨城）
山内武敏（愛知）

伊語學科（大正八年九月以降伊語部ト改稱）

明治三十四年七月第一回別科修了生（一人）

平松幾比古（和歌山）

明治三十五年七月第二回別科修了生（一名）

森田鐵三郎（新潟）

明治三十六年七月第三回別科修了生（一人）

菅野　眞（宮城）

明治四十五年三月第四回專修科修了生（一人）

佐々木喜市（大阪）

大正三年三月第五回專修科修了生（一人）

下位春吉（東京）

大正四年三月第六回專修科修了生（一人）

柳　英一郎（新潟）

大正五年三月第七回專修科修了生　（一人）

伊東廣雄（長野）

大正六年三月第八回專修科修了生　（二人）（成績順）

井岡邦雄（東京）　瀧澤直七（栃木）

大正七年三月第九回專修科修了生　（三人）（成績順）

牛山充（長野）　中岡彌高（岡山）　坂本竹藏（東京）

大正九年三月第十回專修科修了生　（二人）（ABC順）

林竹次郎（東京）　今關達也（千葉）

昭和四年三月第十一回專修科修了者　（五名）（ABC順）

石本久治（北海道）　井澤徹（東京）　桑名壽一（神奈川）　佐藤小太郎（東京）

磯邊馨次（東京）

西語學科（大正八年九月以降西語部ト改稱）

明治三十二年七月第一回別科修了生　（二人）（いろは順）

渡邊清（東京）　津田弘季（岡山）

明治三十三年七月第二回別科修了生　（一人）

堀口福彥（岡山）

明治三十四年七月第三回別科修了生　（一人）

鈴木三郎（千葉）

明治三十八年七月第四回專修科（別科改稱）修了生　（五人）（いろは順）

伊藤恒太郎（山口）　齋藤惣吉（山口）　眞田五十吉（東京）　進藤信雄（群馬）

×大塚修（愛媛）

明治四十年三月第五回專修科修了生　（五人）（いろは順）

橋本靜（滋賀）　片山謙（德島）　大野基尙（大分）　宮崎信造（福岡）

加藤順之介（茨城）

明治四十一年三月第六回專修科修了生　（三　人）　（いろは順）

緒田原重雄（福岡）　加毛肇（三重）　吾妻捨吉（宮城）

明治四十二年三月第七回專修科修了生　（二　人）　（いろは順）

國久作之助（福井）　杉本精（東京）

明治四十三年三月第八回專修科修了生　（五　人）　（いろは順）

富田義男（福島）　若林高彦（愛知）　田山保世（東京）　鈴木眞諺（兵庫）

尾崎光美（宮崎）

大正二年三月第九回專修科修了生　（三　人）　（成績順）

勘崎秀胤（兵庫）　齋藤準平（宮城）　田代己代次（東京）

大正十一年三月第十回專修科修了者　（九　名）　（ＡＢＣ順）

淺川一德（廣島）　來生鐵彌（山形）　岡本良知（富山）

石井重正（茨城）　日下部川勝（宮城）　長島壽義（東京）

加藤忠八（新潟）　中野哲雄（鹿兒島）　高瀨房吉（福島）

大正十二年三月第十一回專修科修了者　（四　名）　（ＡＢＣ順）

淺見泰一（北海道）　中馬隊（鹿兒島）　濱田茂實（和歌山）　山本憲太郎（靜岡）

大正十三年三月第十二回專修科修了者　（十五名）　（ＡＢＣ順）

淺田高男（長崎）　磯田勝（兵庫）　百瀨熊雄（東京）　土屋春夫（靜岡）

出口一郎（東京）　北浦靜彥（奈良）　武藤原太（東京）　山本軍治郎（滋賀）

藤岡武雄（東京）　正木達二（東京）　成富信敏（佐賀）　江中幸嗣（東京）

服部寅雄（福岡）　嶺川日出男（佐賀）　下川義忠（東京）

大正十四年三月第十三回專修科修了者　（六　名）　（ＡＢＣ順）

古屋英男（東京）　松永聰司（群馬）　中川清澄（和歌山）　竿田秀直（兵庫）

加藤芳男（東京）　永見高治（東京）

大正十五年三月第十四回專修科修了者　（四　名）　（ＡＢＣ順）

瀨內勝（東京）　片山量平（長崎）　京谷補佐（秋田）　二階堂勳（新潟）

昭和二年三月第十五回專修科修了者　（六　名）　（ＡＢＣ順）

飯田勗（愛媛）　仲田忠（千葉）　田中正夫（東京）　矢尾健三（東京）

今井潛（鳥取）　高岡宗一（熊本）

昭和三年三月第十六回專修科修了者　（十一名）　（ABC順）

青井孝市（滋賀）―影山德七（福島）　森川義規（熊本）　積田三郎（千葉）
今井修一（靜岡）　勝部時平（東京）　村社保倫（埼玉）　安富容雄（山梨）
岩下重信（長野）―近藤正雄（福島）　豊田乙夫（福岡）

昭和四年三月第十七回專修科修了者　（四名）　（ABC順）

岩尾庫夫（大分）―金寅鉉（朝鮮）　小林進（東京）　西村賢三郎（神奈川）

昭和五年三月第十八回專修科修了者　（七名）　（ABC順）

長谷場充（鹿兒島）―熊井直之（群馬）　谷本榮（香川）　山名宗興（東京）
小篠定恒（東京）―鮫島伊八（鹿兒島）　坪井隆善（東京）

昭和六年三月第十九回專修科修了者　（九名）　（ABC順）

原田一美（岡山）―中村遽（東京）　佐久間正（東京）　山口容夫（廣島）
加藤健太郎（神奈川）　荻島雄三（東京）　佐々木洋之輔（東京）　桑川清吉（岩手）
岸本四郎（山口）

昭和七年三月第二十回專修科修了者　（五名）　（ABC順）

羽鳥敏男（東京）―加藤正（靜岡）　積田二郎（千葉）　圖師亮（長崎）
市田彌一郎（京都）

葡語學科

大正七年三月第一回專修科修了生　（四人）　（成績順）

十川成一（山口）―副島五十二（東京）　山崎幾平（靜岡）―石原昌榮（北海道）

大正八年三月第二回專修科修了生　（二人）　（成績順）

笠井鎭夫（岡山）―大西浩太（岡山）

支那語學科（舊稱清語學科　大正二年改正　大正八年以降支那語部ト改稱）

明治三十二年七月第一回別科修了生（六人）（いろは順）

泉水信太郎（千葉）　加納政太郎（東京）　坂野竹之助（茨城）　日高賢吉郎（長崎）
小川運平（埼玉）　錄田彌助（鹿兒島）

明治三十三年七月第二回別科修了生（七人）（いろは順）

龜山玄明（岐阜）　田中慶太郎（京都）　大久保家道（東京）　佐藤長次郎（埼玉）
高岩勘次郎（福岡）　中島比多吉（埼玉）　福崎三次郎（鹿兒島）

明治三十四年七月第三回別科修了生（十七人）（いろは順）

稻澤珍三郎（宮崎）　成田文太夫（宮城）　大久保宜家（東京）　白藤芳夫（東京）
岡田瓢（長野）　中田金次郎（東京）　菊地三九郎（東京）　關菊麿（京都）
小澤銀十郎（長野）　村上久吉（東京）　菊川龜次郎（熊本）
唐澤祐慶（東京）　大橋末彥（東京）　岸峰治郎（鳥取）
高比良勝二（長崎）　太田繁（東京）　皆川秀孝（茨城）

明治三十五年七月第四回別科修了生（十一人）（いろは順）

田中政吉（兵庫）　黑澤彙次郎（富山）　兒玉純（鹿兒島）　秋吉英三（東京）
宅野潔（山口）　桑原壽一（山口）　遠藤三藏（兵庫）　菊地榮（茨城）
村田鐵三郎（愛媛）　松井英一郎（岐阜）　赤澤宇之助（鹿兒島）

明治三十六年七月第五回別科修了生（十三人）（いろは順）

吉田與三郎（滋賀）　奧田猛（兵庫）　淺井周治（愛媛）　菅沼佐喜男（三重）
芳野五郎（東京）　山田茂三郎（富山）　北村一郎太（長崎）
仲西次郎（福岡）　古谷鐵之助（東京）　宮越健太郎（新潟）
中川四郎（愛媛）　小池英次（福島）　須賀幸太郎（群馬）

明治三十七年七月第六回別科修了生（十二人）（いろは順）

入澤豐（東京）　角田松次郎（群馬）　井上翠（兵庫）　清水知（愛知）
金田雄次（靜岡）　長澤貞（栃木）　太田貞吉（東京）　椎野榮一（新潟）
只野重次郎（宮城）　薬順平治（島根）　今逸郎（青森）　鈴木仁四郎（栃木）

明治三十八年七月第七回專修科（別科改稱）修了生（十九人）（いろは順）

岩村成中（千葉）　西田周平（富山）　荻島四三二（東京）　田淵清一兵衞（德島）
石原新七（埼玉）　岡山周藏（兵庫）　和田貫一郎（東京）　宇井英（東京）

草場　力（愛知）　松本義圓（廣島）　青木金太郎（奈良）　安藤堅次（岐阜）
山野井虎市（東京）　卷雄四郎（東京）　新井信次（東京）　森山德助（島根）
山崎成太郎（奈良）　福田　勇（岐阜）　天野准一（愛知）

明治三十九年七月第八回專修科修了生　（十七人）　（いろは順）

遠山吉之介（愛知）　加藤庸三（群馬）　小林源造（東京）　佐々木三利（福井）
鹿永政一（山口）　津田榮（大阪）　遠藤重男（福岡）　木下茂雄（東京）
富田康平（靜岡）　久保清吉（廣島）　寺境彌（東京）
小澤銀次郎（東京）　福田清一（群馬）　荒川德一（東京）
川橋正治郎（京都）　小林代次郎（東京）　齋藤伊右衞門（東京）

明治四十年三月第九回專修科修了生　（二十四人）　（いろは順）

伊藤東一郎（岩手）　小山義龜（福岡）　黑田茂八（富山）　湯山半兵衞（神奈川）
池田良太郎（山形）　龜山猛治（北海道）　山本寅雄（東京）　行岡宇多之助（東京）
濱野萬吉（東京）　上遠野武（宮城）　福田英治（埼玉）　庄田規矩郎（東京）
長谷川豐男（埼玉）　浦田二郎（東京）　近藤菊雄（富山）　下平晉（長野）
西島德太郎（東京）　大多和登實吉（宮崎）　朝比奈泰吉（兵庫）　守田藤之助（東京）
小川吉之助（東京）　大野鄕夫（東京）　木村重藏（福島）　關根富貴男（東京）

明治四十一年三月第十回專修科修了生　（十六人）　（いろは順）

今藏熊太郎（東京）　山田鎌次郎（新潟）　酒葉道信（東京）　三木宗太郎（德島）
村田友三郎（栃木）　松脇正昇（東京）　三枝一郎（東京）　樋口鐵六（東京）
植田一夫（神奈川）　後藤勢一（香川）　鮫島時應（鹿兒島）　森德次郎（靜岡）
栗山勝正（山口）　手塚武義（山梨）　水谷一之亮（三重）　杉本吉五郎（東京）

明治四十二年三月第十一回專修科修了生　（十三人）　（いろは順）

新島謙吉（東京）　中川好助（靜岡）　山田久太郎（富山）　菅眞人（愛知）
神谷豐左衞門（愛知）　中山忠次（和歌山）　山根藤七（島根）
高橋貞之助（東京）　長崎元一（東京）　齋藤清俊（秋田）
中路留吉（福島）　村田春江（千葉）　菱伊新三郎（宮城）

明治四十三年三月第十二回專修科修了生　（十　人）　（いろは順）

市川保一（東京）　脇川文近（長崎）　矢部力雄（群馬）　宮崎太郎（東京）
今井健彥（靜岡）　內藤繁治（東京）　山田萬助（東京）
秩父固太郎（東京）　中村米壽（長野）　小池二郎（東京）

明治四十四年三月第十三回專修科修了生　（十　人）　（成績順）

長谷部　巖（岐阜）　太田喜事（茨城）
片桐　靖（新潟）　竹内源次郎（福岡）
島田一郎（埼玉）　中村三蔵（香川）

明治四十五年三月第十四回專修科修了生（六人）（成績順）

荒井　恰（愛知）　吉田壽三郎（熊本）
濱中直樹（靜岡）　牧野鎌太郎（愛知）

大正二年三月第十五回專修科修了生（十二人）（成績順）

菊池篤三（千葉）　中川　宮（神奈川）
小山清次（東京）　内田松三郎（愛知）
志摩　英（神奈川）　山寺吉之助（千葉）

大正三年三月第十六回專修科修了生（四人）（成績順）

貴志正雄（和歌山）　高橋　弘（東京）
藤澤的一（大分）　金森良介（愛知）

大正九年三月第十七回專修科修了生（六人）（ABC順）

坪倉俊之助（群馬）　長江信之助（栃木）
守谷武文（東京）　篠原　利（山梨）

杉山喜平（大阪）　岡松象雄（大分）
加藤建次郎（愛知）
今井仁平（兵庫）

大正十年三月第十八回專修科修了者（七名）（ABC順）

佐藤昇衛（新潟）　田代己代次（東京）
田中　豐（愛知）

大正十一年三月第十九回專修科修了者（九名）（ABC順）

中原仁平（鳥取）　大森常藤（愛媛）
大出確造（栃木）　田村誠意（東京）
鈴木榮助（東京）　鳥居利三郎（京都）

數納兵治（富山）　竹村虎之助（東京）
飯田隆治（東京）　黒岩幸男（群馬）
小山　豐（東京）　松浦珪三（長崎）

大正十二年三月第二十回專修科修了者（十名）（ABC順）

遠藤正武（東京）　稻垣茂雄（滋賀）
日比谷武之助（東京）　久保勝春（福岡）
堀田四郎（京都）　松本信次（東京）
西久保孝愛（東京）　大塚　輔（廣島）
乃萬　徹（愛媛）
小野寺榮助（東京）

大正十三年三月第二十一回專修科修了者（二十二名）（ABC順）

有元精一（岡山）　平井　清（宮城）
古川德次郎（福岡）　保坂保太郎（神奈川）
稻熊輝一（東京）　紙谷璣賢（富山）
石垣純一（香川）　金川耕作（福島）

木村彦一郎（岐阜）	長澤規矩也（東京）	齋藤正敏（宮城）	土谷　潔（北海道）
北原源一郎（長野）	大越榮次郎（秋田）	關　芳齋（福岡）	内野昇一（長崎）
松田昌泰（福岡）	小沼福松（茨城）	菅原米治郎（福井）	
松岡義雄（愛媛）	大塚外次郎（富山）	須永彰三（栃木）	

大正十四年三月第二十二回專修科修了者（六名）（ABC順）

茶谷忠治（兵庫）	加藤和作（東京）	永井誠也（京都）	佐藤逸夫（神奈川）
林　太郎（東京）	川瀨侍郎（富山）		

大正十五年三月第二十三回專修科修了者（八名）（ABC順）

橋本武雄（東京）	岸本農武郎（岡山）	松岡道郎（岐阜）	李　丙義（朝鮮）
金子英輔（群馬）	香田彦太郎（佐賀）	門田茂樹（廣島）	湯淺正一（鹿兒島）

昭和二年三月第二十四回專修科修了者（十三名）（ABC順）

秋本　惇（東京）	栗田　皖（靜岡）	柴原正夫（福島）	
本間藤四郎（東京）	松岡雄二（埼玉）	杉浦守次郎（埼玉）	矢部健次郎（福島）
木下　豐（大分）	水田修一郎（京都）	鈴木吉武（靜岡）	
小室華雲（新潟）	小澤果（靜岡）	丹治周吉（福島）	

昭和三年三月第二十五回專修科修了者（十名）（ABC順）

秋山直太郎（東京）	紺野敏治（福島）	宮本　豐（大分）	吉野芳三（群馬）
引田義平（群馬）	丸木一郎（石川）	高山藏元（千葉）	
石井軍治（千葉）	目加田誠（山口）	高浦嘉助（千葉）	

昭和四年三月第二十六回專修科修了者（四名）（ABC順）

小松芳喬（東京）	西川　勇（福井）	野村龍一郎（東京）	小方　博（東京）

昭和五年三月第二十七回專修科修了者（八名）（ABC順）

鷹澤駿之助（東京）	小田良介（東京）	大谷健二（東京）	實藤惠秀（廣島）
長谷川榮一（京都）	三橋慶次郎（千葉）	齋藤源次郎（東京）	吉田弘（岐阜）

昭和六年三月第二十八回專修科修了者（十一名）（ABC順）

倉本純一（廣島）	宮崎雄太郎（神奈川）	大石久雄（東京）	佐藤堅一（新潟）
丸山直光（新潟）	中川光圓（滋賀）	岡　巧郎（山口）	吉田幸一（靜岡）
益滿行信（東京）	尾川敬二（鳥取）	齋藤乙（千葉）	

昭和七年三月第二十九回專修科修了者（九名）（ABC順）

秋吉員藏（大分）　板橋　豐（神奈川）
羽田俊雄（東京）　小林高四郎（神奈川）
井上誠一（長崎）

富田定之助（佐賀）　山口米一（三重）
藤原二男（大分）　神橋豐太郎（東京）

朝鮮語學科（舊稱韓語學科　明治四十四年一月改稱）

明治三十四年十月第一回別科修了生　（一人）

井上安次郎（京都）

明治三十九年七月第二回專修科（別科改稱）修了生　（五人）　（いろは順）

岡本橘之助（東京）　村木　渙（三重）
七邊格太郎（岡山）　比佐結次郎（秋田）　杉原惣太郎（福島）

明治四十年三月第三回專修科修了生　（一人）

新納賢司（東京）

明治四十一年三月第四回專修科修了生　（二人）　（いろは順）

岸上靜民（愛知）　宮崎道雄（三重）

明治四十二年三月第五回專修科修了生　（二人）　（いろは順）

大谷任功（福島）　三宅知之（東京）

明治四十三年三月第六回專修科修了生（四人）（いろは順）

多田　調（鳥取）―田村京吉（岩手）―有山謹藏（埼玉）―三好泰雄（東京）

明治四十四年三月第七回專修科修了生（二人）（成績順）

青木正春（山口）―大橋矩（東京）

明治四十五年三月第八回專修科修了生（三人）（成績順）

藤田勇（鹿兒島）―南文止（大分）―山根藤七（島根）

速成科修了者

伊語部

大正十一年三月第一回修了者（十二名）（ABC順）

平谷順三（三重）―杵淵勇（長野）―増井芳男（靜岡）―田代己代永（東京）

池野寅三（東京）―小島齊志（愛媛）―長野時雄（滋賀）―荐森直喜（東京）

神原泰（東京）―高興漉（朝鮮）―大野信三（東京）―渡邊紳一郎（鳥取）

大正十三年三月第二回修了者（六名）（ABC順）

喜安貞雄（愛媛）―梨岡壽男（香川）―大川勝受（靜岡）―關武思（福島）

永井誠也（京都）―西原始郎（東京）

大正十五年三月第三回修了者（十二名）（ABC順）

藤城龍三（岡山）―久保田弘（北海道）―森川宣夫（東京）―大村吾一（福岡）

簇手國廣（東京）―窪田靜雄（鳥取）―森川義規（熊本）―田端芳太郎（東京）

岸克己（群馬）―工藤信（大分）―中島濟夫（東京）―戸田保忠（茨城）

昭和二年三月第四回修了者（六名）（ABC順）

石本久治（北海道）　前田貢（神奈川）
川口武一郎（廣島）　森滿二郎（埼玉）

昭和三年三月第五回修了者

磯邊榮次（東京）　小出一郎（新潟）
井澤徹（東京）　桑名壽一（神奈川）

昭和四年三月第六回修了者

野村一義（青森）　大神正穗（滋賀）
落合宜之（新潟）　高橋吉定（宮城）

昭和五年三月第七回修了者

秦一郎（東京）　中井騰二（大阪）
小松芳喬（東京）

昭和六年三月第八回修了者

千葉俊郎（東京）　神谷金剛（靜岡）

昭和七年三月第九回修了者

小野寺勝男（宮城）　佐藤昌（長野）

（八名）（ABC順）

村上靜夫（廣島）　佐藤小太郎（東京）
大島亮吉（東京）　高橋好三（埼玉）

（六名）（ABC順）

山下利三郎（廣島）　横川豐太郎（岡山）

（五名）（ABC順）

秦谷俊雄（廣島）　渡邊輝二（新潟）

（三名）（ABC順）

香村文雄（東京）

（三名）（ABC順）

井上碌郎（北海道）　伊藤昭（東京）

西語學科

大正三年三月第一回修了生

大須勝（東京）　德島寬一（德島）
中西毅（北海道）

大正四年三月第二回修了生

山田鐵彥（大阪）　菊地治三郎（愛媛）
加畑伊輔（京都）　門林安郎（大阪）
久保田昇（長崎）

大正五年三月第三回修了生

十川成一（山口）　樋畑正己（東京）
讃崎龜太郎（東京）　渡部登（島根）
松平繁（東京）

葡語部

伊澤好喬（山口）

（五人）（成績順）

犬伏康平（德島）　岩淵繁樹（東京）

（九人）（成績順）

服部定雄（三重）　鈴木享三（三重）
本多次郎（三重）　野田茂一郎（熊本）

（九人）（成績順）

有地了三（廣島）　姬井昇一（岡山）
黑石元次（山口）　中島直已（東京）

大正十年三月第一回修了者

阿部彌門（山形）　笠井梧樓（山梨）
林田德彌太（長崎）　小松操（山形）

大正十四年三月第二回修了者

（六名）　（ABC順）

安立嗣光（東京）　中澤二郎（東京）
石津雄彦（廣島）　佐久間庸（東京）

大正十五年三月第三回修了者

（三名）　（ABC順）

石本久治（北海道）　小坂俱成（山口）

昭和二年三月第四回修了者

（四名）　（ABC順）

十川計一（香川）　谷本榮（香川）

昭和三年三月第五回修了者

（九名）　（ABC順）

淺岡芳雄（東京）　大野保之（埼玉）
村山正澄（岐阜）　高岡宗一（熊本）

（六名）　（ABC順）

中川勇藏（山形）　大村實（熊本）
高木清一（東京）　瀧尾增夫（東京）
照井次郎（岩手）　渡邊毅雄（東京）
龍野源德（鹿兒島）　山田清吉（千葉）
鶴海太郎（岡山）　吉田小五郎（新潟）

中尾嘉吉（島根）

昭和四年三月第六回修了者

（四名）　（ABC順）

久我義明（千葉）　上野泰彥（東京）
松尾茂雄（長崎）　竹澤平太（千葉）

昭和五年三月第七回修了者

（十名）　（ABC順）

阿部高惠（岩手）　小原重夫（千葉）
岩崎克己（愛知）　名倉務（京都）
河內誠一郎（新潟）　西本伍一（山口）
塗谷次郎（石川）　山口慎三（千葉）
諏訪昇（靜岡）
植草定太郎（東京）

支那語學科

大正三年三月第一回修了生

（九人）　（成績順）

戶川健三（大阪）　山口勝也（神奈川）
伊藤時雄（長野）　塚越島十郎（群馬）
荒井敏郎（德島）

大正四年三月第二回修了生

（八人）　（成績順）

渡邊哲（茨城）　小玉英一（愛知）
豐島五六（東京）　河相衛（朝鮮）

尹亮求（朝鮮）　木下淺吉（佐賀）　土井豐（愛媛）　下川末市（長崎）

大正五年三月第三回修了生

（十三人）（成績順）

宋村滿男（熊本）　廣瀨主殿（山梨）　長島五三郎（兵庫）　鈴木晟太郎（栃木）
衞藤忠雄（大分）　犬丸鐵太郎（東京）　恒川泰次（奈良）
雨宮正雄（愛知）　水坂貞雄（愛知）　多田慶明（愛媛）
森忠雄（愛知）　森脇忠敏（埼玉）　木原文弼（滋賀）

大正六年三月第四回修了生

（十四人）（成績順）

田邊桑三郎（島根）　菱沼文二（宮城）　村江汎之（鳥取）　平野賢吉（千葉）
柏木栞（兵庫）　今關達也（千葉）　竹中京太郎（東京）　川尻忠（秋田）
寺村豐次郎（滋賀）　板倉與三郎（熊本）　青木金之助（東京）
德久虎之助（佐賀）　平井清（宮城）　大倉明三郎（東京）

大正七年三月第五回修了生

（九人）（成績順）

池田佐久馬（長崎）　清島重德（東京）　伊部唯一（福井）　大和田藤馬（福島）
中川敬治（京都）　石山陽三（埼玉）　成島武八（茨城）　柳澤五郎（長野）
松山悅次郎（愛知）

蒙古語部

大正十一年三月第一回修了者

（一名）

渡邊卯一郎（新潟）

大正十三年三月第二回修了者

（五名）（ABC順）

久保寺逸彥（山梨）　高綱信吉（新潟）　寺正利光（東京）　內田擎（愛知）
高師泰治（千葉）

大正十四年三月第三回修了者

（四名）（ABC順）

林文雄（長崎）　柿原熊一（愛媛）　長澤矩規也（東京）　田端芳太郎（東京）

昭和二年三月第四回修了者

（三名）（ABC順）

岸本農武郎（岡山）　森知虎（愛媛）　西川勇（福井）

馬來語部

大正十年三月第一回修了者

（四名）（ABC順）

西村清保（富山）　沼邊武（東京）

大正十一年三月第二回修了者

府川辰造（神奈川）　豐川峻一（長野）
沼邊武（東京）

大正十二年三月第三回修了者（五名）（ABC順）

阿部勇（山形）　青木元次郎（滋賀）
蘆澤輝男（岡山）

大正十三年三月第四回修了者（四名）（ABC順）

三芳美之藏（富山）　和田禎三郎（栃木）

大正十四年三月第五回修了者（三名）（ABC順）

黑澤德明（茨城）　大塚正眞（福岡）

昭和三年三月第六回修了者（三名）（ABC順）

甲賀朝司（靜岡）　中塚繁太郎（京都）

小川正次（大阪）　杉村飛車太郎（群馬）

大正十一年三月第二回修了者（五名）（ABC順）

武田幸太郎（岡山）　牛島國光（東京）

大正十二年三月第三回修了者（五名）（ABC順）

武田豐藤（廣島）　田代己代次（東京）

大正十三年三月第四回修了者（四名）（ABC順）

渡邊一義（香川）　安村臨輿（東京）

大正十四年三月第五回修了者（三名）（ABC順）

吉田輝（大阪）

（三名）（ABC順）

齋藤一三（東京）

昭和五年三月第七回修了者（一名）

李益堅（中華民國）

露語

昭和二年三月第一回修了者（五名）（ABC順）

簇手國廣（東京）　岩生成一（福岡）
堀七郎（島根）

昭和三年三月第二回修了者（三名）（ABC順）

關谷昌四郎（栃木）　鈴木章夫（千葉）

昭和四年三月第三回修了者（七名）（ABC順）

安藤俊郎（愛媛）　品田仁之松（神奈川）
伊藤富雄（山形）　鳥居御嶽（東京）

昭和六年三月第四回修了者（三名）（ABC順）

川崎秀一（廣島）　志村春久（山梨）

都築四十男（東京）　谷川龜次郎（熊本）
村井寬（東京）

北郷貴和（鹿兒島）　岩崎克己（愛知）　龍井直之（群馬）

（二名）（ABC順）

昭和七年三月第五回修了者

原島佑三（埼玉）　平井晃（京都）

（二名）（ABC順）

ヒンドスタニー語部

大正十一年三月第一回修了者

岡野一喜（石川）

（一名）

大正十二年三月第二回修了者

大西英一（兵庫）　尾崎貫一郎（埼玉）　宰務五一郎（東京）

（三名）（ABC順）

朝鮮語學科（大正八年九月以降朝鮮語部ト改稱）

大正三年三月第一回修了生

副島泰人（長崎）　鬼塚盛藏（東京）　山本元次郎（千葉）　小瀬村龜三（神奈川）　高濱由己（大分）

（五人）（成績順）

大正十一年三月第二回修了者

平井良雄（香川）　中村又一（佐賀）

（二名）（ABC順）

大正十二年三月第三回修了者

横江清兵衛（滋賀）

（一名）

明治四十年三月速成科修了生（明治三十九年三月設置同四十年三月廢止　修業年限一ケ年授業時數一週二十二時間）

（十九人）（いろは順）

渡邊源四郎（石川）　根岸伊七（群馬）　福井敬藏（東京）　皆川大郎（山口）

程田藤吉（東京）　奥山光茂（鹿兒島）　高鍋中（清國）　三浦安兵衛（愛知）

戸川末三（東京）　押見寅之助（山口）　厚美清太郎（德島）　鹽田彌惣八（滋賀）

竹室卯造（兵庫）　山口甲子男（靜岡）　秋草愛一（群馬）　茂木德晉（長野）

宗文江（東京）　保田宗治郎（神奈川）　湯淺誠作（群馬）

清語學科

（二十九人）（いろは順）

若本正木（長野）　林善一（東京）　西山章二（鹿島）　細川久（岩手）

土井芳輔（山口）
川谷宮太郎（高知）
立花慶應（福岡）
高山好（新潟）
辰川質（愛媛）
竹中信以（東京）
塚原守重（山梨）

長竹元吉（千葉）
中村春之助（神奈川）
中村惠延（埼玉）
矢野繁之亟（岩手）
松岡龍吉（岐阜）
松田智禮（愛媛）
松浦捨吉（和歌山）

藤岡藤市（德島）
舟津勝三（東京）
江口是三郎（佐賀）
新井慶太郎（埼玉）
秋元雄治（群馬）
酒田恒記（愛媛）
岸田國太郎（京都）

澁谷兵八（岐阜）
清水清次（山形）
鈴木一良（東京）
鈴木榮之亟（長野）

韓語學科

（十四人）（いろは順）

池田傳次（秋田）
石川竹三郎（埼玉）
田中德太郎（青森）
中澤鐵太郎（東京）

野澤寛一（新潟）
興津健夫（東京）
黑羽資明（茨城）
山中忠太（三重）

松岡末廣（愛媛）
足助嘉一郎（長野）
北山清（茨城）
宮崎侃（東京）

島谷直方（富山）
墨像兒（愛知）

東洋語速成科修業生

（明治四十一年四月設置同四十四年三月廢止
修業年限一ヶ年
授業時數一週二十二時間）

馬來語學科

明治四十二年三月第一回修業生

（十六人）（いろは順）

飯塚重一（埼玉）
林虎太（香川）
小野良吉（大分）
荻島良三（埼玉）

加藤治躬（靜岡）
笠村思敬（栃木）
田中與平多（長野）
中村庄太郎（福井）

中島懋一（東京）
宇野耕雲（東京）
野口邨彥（北海道）
久保田善一郎（茨城）

松井秀三（鳥取）
松信春之助（茨城）
近藤正二（東京）
寺尾熊次（北海道）

明治四十三年三月第二回修業生

（二人）（いろは順）

×岩室哲次郎（廣島）
秋保俊治（宮城）

明治四十四年三月第三回修業生

（四人）（成績順）

森岡三郎（東京）
板垣龍三（山形）
木全省吾（愛知）
山道儀三郎（群馬）

ヒンドスタニー語學科

明治四十二年三月第一回修業生

稻見憲吉（栃木）　鷹屋祐攝（富山）
小栗明（岐阜）　武關久壽（栃木）
金村貞太郎（東京）　土屋政次郎（岡山）

明治四十三年三月第二回修業生

石山善壽（栃木）　野口一三郎（新潟）

明治四十四年三月第三回修業生

豊田忠太郎（石川）　神崎友吉（栃木）
渥昧薈（静岡）

タミル語學科

明治四十二年三月第一回修業生

田中俊三（和歌山）　柳田光之助（東京）

明治四十三年三月第二回修業生

（十二人）　（いろは順）

上田孝三（三重）　山室廉吉（宮崎）
鵜飼仙之助（岐阜）　赤羽宇重（長野）
大澤友吉（千葉）　阿滿得壽（京都）

（二人）　（いろは順）

（五人）　（成績順）

江尻正一（茨城）　横山金三郎（滋賀）

（四人）　（いろは順）

秋元善藏（青森）　三宅正（愛媛）

（二人）　（いろは順）

和田逸三（兵庫）　渥昧薈（静岡）

蒙古語學科

明治四十二年第一回修業生

石山福治（新潟）　吉田順三（東京）
西田與左衛門（東京）　中島友次郎（群馬）

明治四十三年三月第二回修業生

高橋安親（新潟）　高田治作（北海道）

明治四十四年三月第三回修業生

神谷衡平（東京）　宮島鹿雄（佐賀）
笠井清三郎（三重）　大地亮平（千葉）

（六人）　（いろは順）

藤森勇（長野）　三俣二郎（群馬）

（三人）　（いろは順）

猪狩重光（北海道）

（七人）　（成績順）

淺野睦（東京）　片野孝三（福島）
脇川文近（長崎）

東京音樂學校委託伊語特別科修了生（修業年限二ヶ年 授業時間一週六時間）

大正三年三月修業生　（一人）

松島　孝（東京）

東京府委託支那語特別科修業生（修業年限二ヶ年 授業時數一週六時間）

大正七年七月修業生　（十八人）　（成績順）

天野源一（靜岡）	松本篤太郎（東京）	原義一良（東京）	宮城富朗（東京）		
矢野重弘（北海道）	安藤義照（東京）	增田達雄（滋賀）	松本勇（愛知）		
精祥次（熊本）	漆畑五郎（靜岡）	神保文一（東京）	藤野周太郎（大阪）		
日下定次郎（東京）	中山武（廣島）	萩谷直（茨城）			
原西季雄（東京）	杉浦鉦一（愛知）	堀井芳三郎（京都）			

第五臨時教員養成所卒業生（明治三十五年四月設置同三十九年三月廢止 英語科、修業年限二ヶ年）

明治三十七年三月第一回卒業生　（二十六人）　（いろは順）

泉本覺一郎（奈良）	岡村邦雄（三重）	坂部和三郎（愛知）			
×池田朝長（東京）	小野蓼（青森）	木下芳雄（東京）			
×芳賀重治郎（宮城）	川瀨衆治（山形）	×八十與一（兵庫）	森羅（大分）		
×橋村惠五郎（高知）	金井半三郎（群馬）	山田孝太郎（茨城）	關恰（鹿兒島）		
二瓶兵二（福島）	高橋良一（岩手）	山本市太郎（島根）	×島木康（栃木）		
越智國一（愛媛）	並河良孝（島根）	小林光（東京）			
小川政之助（香川）	向高良夫（宮崎）	江副秀喜（熊本）			

明治三十九年三月第二回卒業生　（二十五人）　（いろは順）

傍士瀧治（高知）	田子富彥（鳥取）	清水勇（愛媛）			
西村昂三（島根）	瀧崎保（長野）	平岩元吉（愛知）			
堀尾柳市（島根）	名原廣三郎（島根）	×五島退藏（德島）	須藤參治（岩手）		
本鄕良喜治（宮城）	仲本吉一郎（沖繩）	今元鶴（青森）	鈴木龜壽（東京）		
富永置三（東京）	夏原由三郎（滋賀）	×大下盛（香川）			
小田四郎（宮崎）	赤井知洗（奈良）	佐藤國彥（福島）			
加藤治躬（靜岡）	山本藍輔（山口）	宮田峰一（廣島）			

第十二臨時教員養成所（大正十五年四月設置昭和六年三月廢止）

英語科修業年限三ケ年

昭和四年三月第一回卒業者

（二十五名）（ABC順）

伊達謙太郎（東京）	木暮義雄（群馬）	富永憲章（德島）	鮫島龍褒（東京）
福井恒（北海道）	前田一（三重）	內川健吾（長野）	澤野七郎（福島）
後藤太丸（大分）	宮城敏男（沖繩）	山下巳代治（神奈川）	鹽見太郎（京都）
市川千秋（長野）	森辣三（愛知）	吉田幾美夫（福岡）	白津眞（宮城）
釜山哲夫（岡山）	森良雄（愛知）		鈴木廣次（靜岡）
鴨志田義幸（茨城）	奈良眞一（岩手）		高橋理平（福島）
小林康彥（東京）	大槻桃丸（東京）		田村市郎（山梨）

昭和五年三月第二回卒業者

（二十七名）（ABC順）

淺井勝（三重）	岩原武雄（長崎）	前田健三（宮崎）	北村一郎（岩手）
吹野信夫（東京）	神谷秋津（愛知）	松島熊男（鳥取）	北村重治（靜岡）
林貫一（長野）	金井正夫（群馬）	三繩千代治（神奈川）	小林梅次郎（神奈川）
飯尾太郎（愛媛）	金子金一（神奈川）	中臺式夫（千葉）	小池透（神奈川）

野田三彥（福岡）	唯野一（福島）	安原克己（廣島）	寺本彌市（東京）
太田三郎（兵庫）	高山俊男（千葉）	吉田忠一（愛知）	山本秀男（東京）
佐久間武雄（千葉）	丹埜喜與美（福島）		山下亮（山梨）

昭和六年三月第三回卒業者

（二十三名）（ABC順）

秋山一（茨城）	石井重男（神奈川）	志賀三重（山梨）	永松春彥（東京）
芦塚瑛（長崎）	石川清光（茨城）	財部長盛（鹿兒島）	中根龜壽（福島）
後藤德太郎（千葉）	石丸俊行（大分）	竹下正（鹿兒島）	大日方直（茨城）
平松榮（三重）	金澤七十四（岡山）	內田實（靜岡）	青梅喜一（神奈川）
飯田龜代治（千葉）	川原友繁（德島）	若宮正吾（東京）	恩地二郎（福岡）
生島俊雄（奈良）	清田政則（千葉）		關武治（新潟）

入學志願者入學者卒業者修了者數年次表

英語部

（大正八年マデハ英語學科ト稱ス以下之ニ準ズ
本科各語學部入學志願者中第二及第三志望者ノ數ハ大正十三年ヨリ掲ゲタリ）

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治三十年	二八	二八			二四	
同 三十一年	九一	一七			四四	
同 三十二年	一二二	二八			四二	一二
同 三十三年			一〇	七四	二九	六
同 三十四年	一二〇	三六	一一	一九六	五四	五
同 三十五年	一四四	二八	一九	二〇七	五四	一六
同 三十六年	一八九	二九	六	一八九	五〇	一九
同 三十七年	一八五	三〇	一六	一五五	六二	一二
同 三十八年	二一五	二九	一九	一八六	六四	一九
同 三十九年	二一一	三〇	三〇	二一五	四六	二四
同 四十年	一九一	三〇	三〇	一九七	七〇	二二
同 四十一年	二二四	二七	二三	一八〇	六九	一四
同 四十二年	二四〇	三〇	二八	二八五	七一	二二
同 四十三年	一九〇	二六	二三	一二〇	七八	一九
同 四十四年	一八七	三五	三二	七九	五四	二七
同 四十五年	二一三	三〇	一九	八四	四九	三二
大正 二 年	二三二（內第二志望二）	三〇	二一	八一	五四	一九
同 三 年	二四一（內第二志望七）	二八	二二	七一	三三	一五
同 四 年	二三七（內第二志望六）	二八	二四	九〇	五〇	九
同 五 年	二九三（內第二志望一八）	二九	一九	八五	四八	一一
同 六 年	三〇二（內第二志望二）	三四	二一	八二	五三	一四
同 七 年	四三九	六二	二六	一二九	六八	二三
同 八 年	四二〇	三七	二七	二〇一	七三	二六
同 九 年	文科 一〇八 貿易科 三九二	一四 一六	二九	二六七	七六	一八
同 十 年	文科 一八四 貿易科 三五一	九 三四	一七 三〇	三一五	一〇二	二〇
同 十一年	文科 三五一 貿易科 三九七	一三 一六	一四 一三	三六一	七二	二七
同 十二年	文科 二五六 貿易科 二二六	一二 一三	一三 一二	三六七	七八	三〇
同 十三年	（外第二志望四五 第三志望二三） 文科 二四〇 貿易科 二一九	三〇 三四	二一 二五	三四四	八四	二八
同 十四年	（外第二志望五五 第三志望二六） 文科 二五一 貿易科 二五二	一六 九	一三 一四	二五六	八七	三七
同 十五年	（外第二志望九 第三志望五） 文科 二四七 貿易科 一五二	二七 一三	一二 一〇	一九四	七三	二七
昭和 二 年	（外第二志望四 第三志望七） 文科 二九三 貿易科 一六六	四四 二	二五 二八	一四四	六八	四二
同 三 年	（外第二志望五 第三志望六） 文科 二二三 法科 五〇 貿易科 一二五	一四 五 一五	一四 一〇	一二二	七四	三八
同 四 年	（外第二志望六 第三志望四） 文科 一八五 法科 四七 貿易科 九七	一二 五 一六	二四 一三	一一七	六六	二五
同 五 年	（外第二志望六） 文科 一四一 法科 二四 貿易科 八四	一五 五 一五		一一八	六三	二五
同 六 年	（外第二志望三六） 文科 一三八 法科 二六 貿易科 六七	一二 六 一七	二八 一〇 一九	一〇四	六五	一九
同 七 年	（外第二志望六） 文科 一三三 法科 七三 貿易科 一〇六	一一 五 一九	一一 四 一二	七七	四八	三五

佛語部

本科 入學志願者	入學者	卒業者	專修科 入學志願者	入學者	修了者	年次
一五	一五			三五		明治三十年
四八	二一			五九		同三十一年
五三	二四			五二	九	同三十二年
四五	一四	三	六二	六二	三	同三十三年
四二	三〇	九	七八	七二	三	同三十四年
五九	三一	一七	八八	八二	四	同三十五年
五〇	二九	九	六一	四八	八	同三十六年
六〇	三〇	一三	六七	五〇	一〇	同三十七年
一〇六	二九	一三	八一	三五	六	同三十八年
五三	二七	一四	一〇四	三三	八	同三十九年
四五	二七	二〇	六六	二六	五	同四十年
四六	二九	一五	三九	三二	六	同四十一年
五八	二六	二〇	一〇九	三八	四	同四十二年
三六	二五	一八	三三	三五	七	同四十三年
五九	二七	一四	五二	四八	六	同四十四年
五九	二四	二一	四九	四四	七	同四十五年
九一	二五	一五	五〇	四三	四	大正二年
一〇六	二四	一四	四五	四〇	七	同三年
九九	二五	一四	五五	五三	一〇	同四年

獨語部

三二	二五	一三	五〇	四四	一一	同五年
一九六	二八	二〇	五一	四七	一三	同六年
二四〇	三一	一七	四七	四五	一〇	同七年
一五三	三一	二四	八七	五五	一五	同八年
一七五	一三	二五	七五	四五	一〇	同九年
一一九	一五	一二	一六八	九六	一八	同十年
一〇〇	一〇	一六	一三二	六七	一八	同十一年
一〇八	一九	一九	一〇九	七六	一八	同十二年
一一二	一四	一八	一二〇	六七	一八	同十三年
一九七	一六	一九	八八	六九	八	同十四年
一一五	一四	一九	六六	五七	一八	同十五年
一六九	一三	一二	四五	三一	一六	昭和二年
一一九	一〇	一六	六六	五八	二一	同三年
一二〇	一二	一九	五二	四〇	一四	同四年
一九	一八	一一	四八	三八	一八	同五年
一〇	一〇	一〇	四四	三四	一七	同六年
一七	一七	一七	四七	三五	一八	同七年

本科

年次	入學志願者	入學者	卒業者
明治三十年	一四九	一一五	
同三十一年	一七〇	一二八	
同三十二年	二〇三	一五七	
同三十三年	一八五	一三〇	
同三十四年	二〇六	一五一	
同三十五年	二〇一	一五八	
同三十六年	二〇〇	一五三	
同三十七年	二〇二	一五四	
同三十八年	二〇四	一五五	
同三十九年	二〇五	一五六	
同四十年	二〇七	一五七	
同四十一年	二〇九	一五八	
同四十二年	二一〇	一五九	
同四十三年	二一一	一六〇	
同四十四年	二一二	一六一	
同四十五年	二一三	一六二	
大正二年	二一四	一六三	
同三年	二一五	一六四	
同四年	二一六	一六五	
同五年	二一七	一六六	
同六年	二一八	一六七	
同七年	二一九	一六八	

專修科

年次	入學志願者	入學者	修了者
明治三十年	二六	一五	
同三十一年	五四	二〇	
同三十二年	六二	二二	
同三十三年	六九	二六	
同三十四年	一三四	一五	
同三十五年	一四五	一五	
同三十六年	一四八	一三	
同三十七年	一五五	一九	
同三十八年	一八七	一九	
同三十九年	二一四	一七	
同四十年	二二三	一七	
同四十一年	二五四	二二	
同四十二年	二四一	一〇	
同四十三年	二六九	一二	
同四十四年	二六六	一四	
同四十五年	二七一	一八	
大正二年	二六四	一二	
同三年	二七八	一三	
同四年	二七五	一四	
同五年	二七八	一五	
同六年	二八四	一七	
同七年	二八五	一七	

本科

年次	入學志願者	入學者	卒業者
明治三十年	一五	一五	
同三十一年	一五	一五	
同三十二年	一五	一五	
同三十三年	一五	一五	
同三十四年	一五	一五	
同三十五年	一五	一五	
同三十六年	一五	一五	
同三十七年	一五	一五	
同三十八年	一五	一五	
同三十九年	一五	一五	
同四十年	一五	一五	
同四十一年	一五	一五	
同四十二年	一五	一五	
同四十三年	一五	一五	
同四十四年	一五	一五	
同四十五年	一五	一五	
大正二年	一五	一五	
同三年	一五	一五	
同四年	一五	一五	
同五年	一五	一五	
同六年	一五	一五	
同七年	一五	一五	

專修科

年次	入學志願者	入學者	修了者
明治三十年	二六	一五	
同三十一年	五四	二〇	
同三十二年	六二	二二	
同三十三年	六九	二六	
同三十四年	一三四	一五	
同三十五年	一四五	一五	
同三十六年	一四八	一三	
同三十七年	一五五	一九	
同三十八年	一八七	一九	
同三十九年	二一四	一七	
同四十年	二二三	一七	
同四十一年	二五四	二二	
同四十二年	二四一	一〇	
同四十三年	二六九	一二	
同四十四年	二六六	一四	
同四十五年	二七一	一八	
大正二年	二六四	一二	
同三年	二七八	一三	
同四年	二七五	一四	
同五年	二七八	一五	
同六年	二八四	一七	
同七年	二八五	一七	

同三十一年	三〇	一五			二二	
同三十二年	三三	一四			一八	二
同三十三年	三五	一三	六	三九	三九	二
同三十四年	四二	二八	一〇	三九	三九	二
同三十五年	五九	三〇	七	三六	三二	五
同三十六年	五五	三〇	一七	三八	三八	八
同三十七年	三七	三〇	一三	二三	一二	六
同三十八年	四九	三一	二四	二五	二一	六
同三十九年	四七	三一	二六	三一	一九	一
同四十年	二六	一九	二一	一六	一三	七
同四十一年	二〇	一八	一九	三七	二七	六
同四十二年	三三	二〇	一九	五三	二三	三
同四十三年	七二	二三	一七	一七	一四	五
同四十四年	二七（内第二志望四）	一一	一五	一六	一五	四
同四十五年	二七（内第二志望二五）	一七	七	九	九	三
大正二年	七六（内第二志望四一）	二五	一七	一六	一二	三
同三年	九三（内第二志望五三）	二五	一〇	一一	一〇	
同四年	一七二（内第二志望七九）	三三	一〇	二二	一九	二
同五年	二四二（内第二志望一一九）	三三	一九	五六	四九	四
同六年	二四〇（内第二志望一〇八）	三五	一一	四一	三八	六
同七年	一二六（内第二志望六八）	三〇	一七	一八	一五	一二
同八年	九七	二八	二一	五四	四八	八
同九年	文科二二 貿易科九二 拓殖科一四	文科九 貿易科一六 拓殖科七	二五	五三	四八	六
同十年	文科三一 貿易科六六 拓殖科一二	文科九 貿易科一四 拓殖科六	文科五 貿易科一六	五四	四一	九
同十一年	文科二〇 貿易科四三 拓殖科三	文科八 貿易科一〇 拓殖科七	文科二 貿易科一七 拓殖科二	六〇	四五	一二
同十二年	文科三六 貿易科四七 拓殖科四	文科七 貿易科一一 拓殖科七	文科一〇 貿易科八 拓殖科六	六五	四八	八
同十三年	（外第二志望一一五 第三志望一三一）文科六 貿易科三七 拓殖科六	文科八 貿易科一一 拓殖科三	文科五 貿易科一六 拓殖科三	五二	三五	一七
同十四年	（外第二志望二〇一 第三志望一八四）文科三四 貿易科九四 拓殖科一六	文科六 貿易科一一 拓殖科四	文科七 貿易科五 拓殖科六	八一	六〇	一一
同十五年	（外第二志望一六二 第三志望一二六）文科二四 貿易科四七 拓殖科四	文科一〇 貿易科一四 拓殖科五	文科五 貿易科一〇 拓殖科四	四六	三五	九
昭和二年	（外第二志望一一九 第三志望一二七）文科一七 貿易科二〇 拓殖科二	文科五 貿易科一一 拓殖科一	文科六 貿易科七 拓殖科一	三六	三〇	三〇
同三年	（外第二志望一五七 第三志望一四八）文科二七 法科一三 貿易科一八 拓殖科七	文科七 法科四 貿易科一一 拓殖科四	文科五 法科 貿易科一二 拓殖科一	五二	三八	一七
同四年	（外第二志望一一七 第三志望一一七）文科三二 法科八 貿易科一八 拓殖科二	文科六 法科四 貿易科一二 拓殖科三	文科三 法科 貿易科八 拓殖科二	四九	三六	八
同五年	（外第二志望一五七）文科二五 法科五 貿易科一三 拓殖科一	文科六 法科四 貿易科一〇 拓殖科二		四八	三八	八
同六年	（外第二志望一八三）文科一八 法科一三 貿易科二七 拓殖科四	文科五 法科六 貿易科一一 拓殖科五	文科二 法科一 貿易科一〇	三八	二六	一七
同七年	（外第二志望一九〇）文科一九 法科一七 貿易科二四 拓殖科七	文科六 法科五 貿易科一一 拓殖科三	文科二 法科三 貿易科五 拓殖科一	三八	二九	三

露語部

伊語部

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治三十二年	一四	六			二	
同三十三年	一五				三	
同三十四年	一五	一五			二	一
同三十五年	三二	一七	四			一
同三十六年	一九	一四		四	四	一
同三十七年	一六	一〇	四	三		
同三十八年			七	二	二	
同三十九年	一一	一〇	三	二		
同四十年	七	六	四	二		
同四十一年	六	五		一	一一	
同四十二年	五	四	六	一〇	八	
同四十三年	七	六	五	六	五	
同四十四年			三			
同四十五年	二		四	七	六	一
大正二年	三一（內第二志望一七）	一七	二	一〇	八	
同三年				四	四	一
同四年				四	三	一
同五年	二六（內第二志望二一）	一四	六	一二	一一	一
同六年				二	二	二

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
同七年				六	六	三
同八年	二二	二一	八	一二	一二	
同九年						二
同十年	文科一六 貿易科一六 拓殖科一	四 一〇 二		二七	二四	
同十一年	文科一四 貿易科二三 拓殖科三	五 九 四	三 九 一			*一二
同十二年				三三	二七	
同十三年	文科四 貿易科五四 拓殖科一一（外第二志望七〇 第三志望一〇五）	九 五 五	二 六 一			*六
同十四年	文科二二 貿易科一七 拓殖科四（外第二志望七四 第三志望一四一）	五 六 五	三 八 四	三一	二四	
同十五年				*一二	*一一	*一二
昭和二年	文科七 貿易科五 拓殖科〇（外第二志望四七 第三志望一一五）	四 八 二	七 三 三	*一九	*一七	*六
同三年			文科三 貿易科四 拓殖科五	*一〇 一六	*九 一三	*八
同四年	文科三 法科一〇 貿易科二 拓殖科二（外第二志望四五 第三志望九七）	六 二 七 四		*一〇	*九	*五 六
同五年				九	七	五
同六年	文科三 法科八 貿易科五 拓殖科〇（外第二志望七七）	三 三 七 二	一 三 四 三	*九	*六	*三
同七年				*五	*五	*三

西語部

本科

年次	入學志願者	入學者	卒業者
明治三十年		六	六
同三十一年		一五	一五
同三十二年		一三	六
同三十三年		二六	五
同三十四年		三五	六
同三十五年		二四	九
同三十六年		三七	八
同三十七年		二八	一〇
同三十八年		一三	一三
同三十九年		二四	一四
同四十年		二七	一九
同四十一年		二〇	一三
同四十二年		一四	一二
同四十三年		九	一二
同四十四年		一六	九
同四十五年		一四	八
大正二年		二三	九
同三年		二九	六
同四年		二九	六

專修科及速成科

年次	入學志願者	入學者	修了者
明治三十年		一一	
同三十一年		八	四
同三十二年		四	二
同三十三年		九	一
同三十四年		五	一
同三十五年		九	
同三十六年		二〇	
同三十七年		一二	
同三十八年		一二	五
同三十九年		一六	
同四十年		一三	五
同四十一年		二六	三
同四十二年		二〇	二
同四十三年		九	五
同四十四年		五	
同四十五年		八	
大正二年	*	*	*
同三年	*	*	*
同四年	*	*	*

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治三十年						
同三十一年						
同三十二年						
同三十三年						
同三十四年						
同三十五年						
同三十六年						
同三十七年						
同三十八年						
同三十九年						
同四十年						
同四十一年						
同四十二年						
同四十三年						
同四十四年						
同四十五年						
大正二年						
同三年						
同四年						
同五年						
同六年						
同七年						
同八年						
同九年						
同十年						
同十一年						
同十二年						
同十三年						
同十四年						
同十五年						
昭和二年						
同三年						
同四年						
同五年						
同六年						

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
同七年	(外第二志望二二二) 文科五 法科一九 貿易科二四 拓殖科一一	文科二 法科四 貿易科六 拓殖科一七	文科四 法科三 貿易科〇 拓殖科一六	一八	一四	五

葡語部

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
大正五年				一一	一〇	
同六年				五	五	
同七年				九	八	四
同八年	一二	一四				二
同九年				＊八	＊八	
同十年	文科六 貿易科一三 拓殖科一〇	文科三 貿易科九 拓殖科一一				＊六
同十一年	文科二 貿易科一〇 拓殖科二〇	文科三 貿易科七 拓殖科五	文科一 貿易科五 拓殖科三			
同十二年						
同十三年	(外第二志望六九 第三志望九六) 文科二 貿易科七 拓殖科八	文科二 貿易科七 拓殖科九	文科一 貿易科三 拓殖科八	一七	一〇	
同十四年	(外第二志望五二 第三志望六九) 文科〇 貿易科七 拓殖科三	文科三 貿易科八 拓殖科四	文科一 貿易科六 拓殖科四	七	五	＊六
同十五年				＊八	＊七	＊三
昭和二年	(外第二志望七〇 第三志望一〇五) 文科一 貿易科四 拓殖科一一	文科五 貿易科七 拓殖科五	文科二 貿易科六 拓殖科三	＊一八	＊一七	＊四
同三年			文科二 貿易科三 拓殖科三	＊一六	＊一〇	＊九
同四年	(外第二志望七〇 第三志望一〇六) 文科〇 法科六 貿易科一二 拓殖科一七	文科二 法科三 貿易科六 拓殖科六		＊二〇	＊一八	＊四

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
同五年						一〇
同六年	(外第二志望五一) 文科二 法科一 貿易科七 拓殖科七	文科一 法科三 貿易科五 拓殖科九	文科二 法科一 貿易科三 拓殖科三			
同七年						

支那語部

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治三十年	一三	一三			二〇	
同三十一年	七	一二			二〇	
同三十二年	三七	一三			三九	六
同三十三年	二三	一〇	九	四四	四四	七
同三十四年	三五	二九	一一	三三	二八	一七
同三十五年	六五	三〇	八	九七	八九	一一
同三十六年	六二	三〇	九	八三	五六	一三
同三十七年	一〇七	三〇	一八	一九九	一〇九	一二
同三十八年	一〇〇	三三	二七	一六〇	七四	一九
同三十九年	七四	二七	二一	一二六	四一	一七
同四十年	四三	三〇	二七	八八	三七	二四
同四十一年	六三	三〇	一七	五三	三五	一六
同四十二年	三五	二八	二〇	五三	二五	一三
同四十三年	四五	二三	二四	二一	一八	一〇

年次	卒業者				入學者				入學志願者			
	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科
同四十四年	一〇				一〇				二三			
同四十五年	六				一一				一七			
大正二年	一二				一一				二五			
同三年	四				一三				一四			
同四年	六				一六				二〇			
同五年	四				二〇				一一			
同六年	一				二一				一一			
同七年	一				二一				一三			
同八年	一				二一				一六			
同九年	一				二一				二〇			
同十年	一				二一				二三			

年次	卒業者				入學者				入學志願者			
	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科
同四十四年	一〇				一〇				二八			
同四十五年	六				一二				二一			
大正二年	一二				一二				二四			
同三年	四				一五				一七			
同四年	六				一八				二六			
同五年	四				二二				二八			
同六年	一				二二				一八			
同七年	一				二一				一七			
同八年	一				二一				一二			
同九年	一				二一				一〇			
同十年	一				二一				一〇			

蒙古語部

本科

年次	卒業者				入學者				入學志願者			
	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科
同四年	七				一九				二七			
同五年	一				一七				一八			
同六年	四				一五				三七			
同七年	一				一五				三七			
同八年	一				一五				三七			
同九年	一				一五				三七			
同十年	一				一五				三七			

専修科及速成科

年次	修了者				入學者				入學志願者			
	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科	文科	法科	商科	拓殖科
明治四十四年												
同四十五年												
大正二年												
同三年												
同四年												
同五年												
同六年												
同七年												
同八年												
同九年												
同十年												

暹羅語部

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
同十一年						＊一
同十二年				＊一〇	＊八	
同十三年				＊七	＊五	＊五
同十四年						＊四
同十五年				＊四	＊四	
昭和二年						＊三
同三年						
同四年						
同五年						
同六年				＊五	＊五	
同七年						

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
大正二年						
同三年						
同四年						
同五年						
同六年						
同七年						
同八年						
同九年						
同十年						
同十一年						
同十二年						
同十三年						
同十四年						
同十五年						
昭和二年						
同三年						
同四年						
同五年						
同六年						
同七年						

馬來語部

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治四十四年						
同四十五年						
大正二年						
同三年						
同四年						
同五年						
同六年						
同七年						
同八年						
同九年						
同十年						
同十一年						
同十二年						
同十三年						
同十四年						
同十五年						
昭和二年						
同三年						
同四年						
同五年						
同六年						
同七年						

年次	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治四十四年						
同四十五年						
大正二年						

ヒンドスタニー語部

本科 入學志願者	入學者	卒業者	專修科及速成科 入學志願者	入學者	修了者	年次
(内第二志望 六三)	一二	一〇				同三年
						同四年
(内第二志望 七六)	一七	一〇		九		同五年
		五				同六年
	二〇	一〇		五		同七年
三七	七	一四		一一		同八年
賈易科 三七 拓殖科 二〇	五七			一〇		同九年
賈易科 二〇 拓殖科 二一	六	五五		一一		同十年
	七九	八六		八		同十一年
賈易科 二一 拓殖科 一五	一〇	六		一一		同十二年
(外第二志望 五九 第三志望 一一〇) 賈易科 一二四 拓殖科 二〇	四五	二五		一三		同十三年
(外第二志望 一一〇 第三志望 六七) 賈易科 二〇 拓殖科 一一	七九	七二		一〇		同十四年
(外第二志望 七四 第三志望 一五六) 賈易科 一九 拓殖科 一四	一〇	五四		六		同十五年
(外第二志望 一二一) 賈易科 一九 拓殖科 五	一八	七五		一一		同十六年
(外第二志望 一六九) 賈易科 三五 拓殖科 九	一七	六五		一四		同十七年

本科 入學志願者	入學者	卒業者	專修科及速成科 入學志願者	入學者	修了者	年次
(内第二志望 五)	七	六		三	二	明治四十四年
(内第二志望 八)	一一	八				同四十五年
(内第二志望 一〇)	一四	六				大正二年
(内第二志望 三五)	四九	一二				同三年
賈易科 拓殖科	一六	五				同四年
賈易科 二八 拓殖科 九	一七	八				同五年
						同六年
賈易科 一八 拓殖科 一〇	一八	七四		一一	一一	同七年
賈易科 拓殖科	一一	一一		八	六	同八年
(外第二志望 六八 第三志望 一七) 賈易科 八 拓殖科 一四	一三	一〇		一〇	一〇	同九年
(外第二志望 三八 第三志望 一三二) 賈易科 一三 拓殖科 六	六八	一三				同十年
						同十一年
(外第二志望 四五 第三志望 一六) 賈易科 六 拓殖科 三	一七	三二				同十二年
(外第二志望 五七) 賈易科 一四 拓殖科 二	一〇	七二				同十三年
						同十四年
(外第二志望 七九) 賈易科 一六 拓殖科 六	七八	三五				同十五年
						昭和二年
						同三年
						同四年
						同五年
						同六年
						同七年

本科

年次	入學志願者	入學者	卒業者
明治三十年	六	六	六
同三十一年	八	三	八
同三十二年	二二	一六	六
同三十三年	八	六	八
同三十四年	二九	二七	四
同三十五年	二三	二三	九
同三十六年	三七	二七	一
同三十七年	四〇	二九	三
同三十八年	一七	一二	一〇
同三十九年	九	七	一四
同四十年	一九	一六	一六
同四十一年	二〇	一三	一二
同四十二年	一九	一四	二
同四十三年	一八	一二	七
同四十四年	二三	一四	九
同四十五年	三〇	一〇	六
同大正二年	一九	四	六

專修科及速成科

年次	入學志願者	入學者	修了者
明治三十年	三	三	*
同三十一年	三	三	
同三十二年	八	三	*
同三十三年	三	三	五
同三十四年	一七	一一	
同三十五年		一	*
同三十六年		一	
同三十七年	一四	七	
同三十八年	九	四	五
同三十九年	八	六	
同四十年	二一	一五	一
同四十一年	二九	一四	二
同四十二年	一〇	九	四
同四十三年	一一	一	二
同四十四年	九		三
同四十五年	*	*	*
同大正二年	七	五	五
同三年	六	六	同
同四年	七	七	同

本科

年次	入學志願者	入學者	卒業者
同五年	一九	四	六
同六年	三〇	一〇	六
同七年	二三	一四	七
同八年	一八	一二	九
同九年	一九	一四	七
同十年	二〇	一六	二
同十一年	一九	一三	一〇
同十二年	九	七	一四
同十三年	一七	一二	一六
同十四年	四〇	二九	一〇
同十五年	三七	二七	一二
昭和二年	二三	二三	三
同三年	二九	二七	九
同四年	八	六	四
同五年	六	二二	三

專修科及速成科

年次	入學志願者	入學者	修了者
同五年	一九	四	*
同六年	三〇	一〇	五
同七年	二三	一四	
同八年	一八	一二	*
同九年	一九	一四	五
同十年	二〇	一六	
同十一年	一九	一三	一
同十二年	九	七	五
同十三年	一七	一二	
同十四年	四〇	二九	一
同十五年	三七	二七	
昭和二年	二三	二三	
同三年	二九	二七	
同四年	八	六	
同五年	六	二二	一

昭和七年概況

一、教官（＊印ハ重出シタルモノ）

	教授	助教授	外國人教師	講師	外國人講師	計
英語	七		二	一	三	一三
佛語	四	一	一＊一	一	一	八＊一
獨語	三		一	三	一	八
露語	三	一	一	三	一	九
伊語	二		一			三
西語	三	一	一	一		六
葡語	一		一	一		三
支那語	二	一	一＊一	一		五＊一
蒙古語	一	一	一			三
馬來語				二		二
ヒンドスタニー語		一	一			二
蘭語	一					一
修身	二					二
國語	二					二
歷史	＊二			一		一＊二
經濟	一			一		二
言語學				一		一
哲學				一		一
教育學				一		一
社會學				一		一
法律	二＊一	一		二		五＊一
商業	二	＊一				二＊一
商業實務	一＊一			二		三＊一
貿易事情	＊一			一		一＊一
農業	二					二
殖民				二		二
殖民地事情	＊一			一		一＊一
體操		二		三		五
計	三九	九	一一	三〇	六	九五

二、本科卒業、選科修了、修業者、專修科及速成科修了者數

科別＼語學別	英語部 文	英語部 法	英語部 貿	佛語部 文	佛語部 法	佛語部 貿	獨語部 文	獨語部 法	獨語部 貿	露語語 文	露語語 法	露語語 貿	露語語 拓	伊語部	西語部 文	西語部 法	西語部 貿	西語部 拓	支那語部 文	支那語部 法	支那語部 貿	支那語部 拓	蒙古語部	馬來語部 貿	馬來語部 拓	ヒンドスタニー語部 貿	ヒンドスタニー語部 拓	計
本科卒業者	二	四	一二	六	八	一一	七	七	一一	二	三	五	一		四	三	一〇	六	三	五	一一	六		六	五	五	三	一五五
選科修了、修業者	修了修業		五			四			三			四					一				一	六	一					一二四
專修科修了者			三五			一八			二三			三					五				九							九二
速成科修了者																									蘭語 二			五
計			六七			四七			五〇			一八			三			二九			四一		一		一三		八	二七七

備考　表中文ハ文科（文學）法ハ文科（法律）貿ハ貿易科拓ハ拓殖科ノ略ナリ

三、生徒現員（昭和七年四月調）

部	學年	本科 文科	本科 貿易科	本科 拓殖科	選科	專修科	速成科	合計
英語部	第四學年	一五	一一					二六
	第三學年	二一	一二					三三
	第二學年	一七	一七		四	三〇		六八
	第一學年	一六	二〇		二	四五		八三
佛語部	第四學年	一二	九					二一
	第三學年	二一	七		一			二九
	第二學年	一四	一三		四	一九		五〇
	第一學年	一八	一七		二	三一		六八
獨語部	第四學年	一一	九					二〇
	第三學年	一四	一三		一			二八
	第二學年	一八	一四		三	二五		六〇
	第一學年	一五	一五		一	四六		七七
露語部	第四學年	三	一〇	三				一六
	第三學年	七	九	一	二			一九
	第二學年	一〇	一〇	三	一	一六		四〇
	第一學年	一一	一〇	三		二八		五二
伊語部	第四學年	四	五					九
	第三學年			*一				*一
	第二學年	六	五	二				一三
	第一學年						五	五
西語部	第四學年	三	一二	四				一九
	第三學年	一〇	一二	六	一			二九
	第二學年	六	一六	九		七		三八
	第一學年	六	一五	七	一	一一		四〇
葡語部	第四學年	五	七	五				一七
	第二學年	三	四	八				一五
支那語部	第四學年	九	七	八				二四
	第三學年	九	一二	六				二七
	第二學年	八	一七	七	六	二一		五九
	第一學年	八	一五	九	二	三六		七〇
蒙古語部	第四學年		三	五				八
	第二學年		七	五				一二
	第一學年						五	五
馬來語部	第三學年		一〇	八				一八
	第一學年		一二	七			明四	二三
ヒンドスタニー語部	第三學年		七	六				一三
	第一學年		八	七	一			一六
計		三〇〇	三七〇	一二〇	三二	三一五	一四	一、一五一

備考　表中＊印ハ本年度ニ就テ該級ナキニ付休學ヲ命シタルモノ

一　東京外國語學校校友會規則

第一章　名稱及目的

第一條　本會ハ東京外國語學校校友會ト稱ス

第二條　本會ハ會員ノ交誼ヲ厚フシ心身ヲ鍛錬シ且校風ヲ振作スルヲ以テ目的トス

第二章　會員

第三條　本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

一、正會員　一、特別會員

一、贊助會員　一、名譽會員

第四條　本校本科生及ヒ選科生及本校內臨時教員養成所生徒ハ正會員タルヘキモノトス

第五條　本校職員ヲ特別會員トス

第六條　本校卒業者及本校內臨時教員養成所卒業者ヲ贊助會員トス

第七條　本校ニ緣故アリ本會ノ目的ヲ贊成スル者ヲ會長ノ推薦ニヨリテ名譽會員トス

第三章　部門

第八條　本會ニ左ノ六部ヲ置ク

第一部　武術部

第二部　陸上運動部

第三部　水上運動部
第四部　文藝部
第五部　辯論部
第六部　語學大會

第四章　役員

第九條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク
但必要ノ場合ハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

會長	一名	副會長
部長	六名	副部長
評議員	十五名以内	幹事
委員	各級一名	主計
錄事	一名	

第十條　會長ハ東京外國語學校長之ニ當ル
第十一條　會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス
第十二條　副會長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
第十三條　副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ル
第十四條　部長及副部長ハ委員會ニ於テ特別會員中ヨリ選擧シ會長之ヲ囑託ス

一名
六名
三十九名（内譯、第一部四名、第二部七名、第三部九名、第四部六名、第五部五名、第六部八名）
一名

第十五條　部長ハ各部ノ事務ヲ掌理シ副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ之ニ代ル
第十六條　評議員ハ特別會員及贊助會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
第十七條　評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ本會ノ重要ナル事項ヲ審議ス
第十八條　幹事ハ委員會ニ於テ正會員中ヨリ選擧シ會長之ヲ任命ス
第十九條　幹事ハ部長及副部長ヲ輔ケテ各部ノ事務ヲ處理ス
第二十條　委員ハ各級ヨリ一名ヲ互選シ本會一切ノ事項ヲ評決ス
第二十一條　主計ハ本校ノ會計課員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會一切ノ出納ヲ掌ル
第二十二條　錄事ハ本校事務員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會ノ記錄ヲ掌ル
第二十三條　本會役員ノ任期ハ滿一ケ年トス
但每年四月ヲ以テ任期ノ始トス
第二十四條　各役員會ハ役員ノ半數以上ノ出席者アルニアラサレハ成立セサルモノトス

第五章　役員會

第二十五條　役員會ヲ分チテ評議員會、部長會、幹事會及委員會トス
第二十六條　各役員會ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章　會計

第二十七條　本會々計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス
第二十八條　次年度ノ豫算ハ每年二月各部幹事之ヲ編成シ部長會ノ査定ヲ經テ委員會ノ議ニ附シ會長ノ

認可ヲ經テ決定ス

第二十九條　正會員ハ入會金貳圓及會費年額金八圓ヲ納ムヘシ
但入會金ハ入學ノ際ニ之ヲ納メ內金壹圓ヲ基本金トス會費ハ三回ニ分チ第一學期金五圓第二學期金貳圓第三學期金壹圓ヲ授料ト同時ニ納ムヘシ

第三十條　特別會員ハ每月俸給月額百五十分ノ一（外國人ハ二百分ノ一）ヲ寄附ス

第三十一條　名譽會員及贊助會員ハ會費ヲ納ムル事ヲ要セス

第三十二條　本會ノ決算ハ六月末日迄ニ委員會ニ報告シ其承認ヲ受クヘシ

第七章　基本金

第三十三條　本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランガ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

第三十四條　本會基本金ハ特定收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十五條　基本金ハ之ヲ通常經費ニ流用スルヲ要ス
但利子ハ當分ノ內基本金ニ繰入ルヽモノトス

第三十六條　有志者ヨリノ寄附ハ會長ノ承認ヲ經テ受納シ之ヲ基本金中ニ繰入ル

第八章　東京外國語學校購買組合

第三十七條　本會ニ東京外國語學校購買組合ヲ附設ス

第三十八條　東京外國語學校購買組合ノ規約ハ別ニ之ヲ定ム

第九章　規則改正

第三十九條　本會規則ハ委員會ノ決議ニヨリ會長ノ認可ヲ經テ改正スル事ヲ得

（附則）本規則ハ大正七年九月十一日ヨリ全部施行ス
（大正十三年三月大正十五年四月昭和五年三月昭和七年九月改正）

二　東京外國語學校同窓會規則

第一條　本會ハ東京外國語學校同窓會ト稱ス

名稱

第二條　本會ハ會員相互ノ親睦ト福祉トヲ圖リ且母校ノ堅實ナル發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

目的

第三條　本會會員ヲ分チテ正會員、特別會員、名譽會員ノ三種トス
東京外國語學校本科及同校附設臨時教員養成所ノ卒業者ハ入會ノ手續ヲ須ヒスシテ正會員タルモノトシ、半途退學者若シクハ選科、別科、專修科、速成科又ハ東洋語ノ速成科ノ出身者ハ本人ノ希望ニヨリ正會員タル事ヲ得
母校在職ノ教職員ニシテ正會員ニ非サル者ヲ特別會員トス
母校ニ關係アル者ニシテ特ニ委員會ヨリ推薦セラレタル者ヲ名譽會員トス

會員及會費

第四條　正會員ハ會費トシテ毎年金壹圓ヲ四月末日迄ニ納付スルヲ要ス
但シ臨時會費ヲ徴收スルコトアル可シ
一時ニ金貳拾五圓以上ヲ納付シタルモノハ爾後ノ會費ヲ納付スルヲ要セス
第五條　會員ニシテ本會ノ名譽ヲ毀損スル行爲アリタル者ハ委員會ノ決議ヲ經テ之レヲ除名ス（除名セラレタルモノノ既納ノ會費ハ之ヲ返附セス）

役　員

第六條　本會ニハ左ノ役員ヲ置ク
一、委員　一、幹事　一、會計審査員
第七條　委員ハ總會ノ際正會員中ヨリ各語部毎ニ五名以内ヲ互選シ、幹事ハ委員中ヨリ十二名ヲ、會計審査員ハ三名ヲ互選ス
第八條　委員ハ委員會ヲ組織シ委員長ヲ互選ス
第九條　委員長ハ臨時委員會ヲ召集シ會務ヲ協議セシム
第十條　幹事ハ委員長ノ決議ニ基キ一般會務ヲ分掌ス
會計ヲ分擔スル幹事ハ三名トス
第十一條　會計審査員ハ一般會計ヲ審査スルモノトス
第十二條　役員ノ任期ハ二ケ年トシ再選ヲ妨ケス、但シ會計ヲ分擔スル幹事ノ任期ヲ一ケ年トシ重任スルヲ得ス

事　業

第十三條　本會ハ毎年四月東京ニ於テ總會ヲ開キ會務ノ報告其他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル諸般ノ協議ヲナス、必要ト認ムル場合ニハ委員會ノ決議ニ依リ臨時總會ヲ開ク事ヲ得、總會ノ費用ハ出席者ヨリ臨時ニ之ヲ徴收スル事ヲ得
第十四條　總會ニ於ケル議事ノ決議ハ出席正會員過半數ノ贊同ヲ要ス
第十五條　本會ハ會報及會員名簿ヲ毎年一回會員ニ配布ス
第十六條　本會ハ其目的ヲ達センカ爲メ隨時必要ナル諸種ノ機關ヲ設クルコトヲ得

會　務

第十七條　本會ノ會務年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月末日ニ終ル
第十八條　會務ハ庶務、文書、會計ノ三部ニ分チ幹事之レヲ分擔ス
第十九條　本會ハ會務ヲ處理スル爲メ有給ノ事務員ヲ雇用スルコトヲ得

會　計

第二十條　本會ノ經常費ハ會費及基本金ノ利子ヲ以テ支辨ス但シ當分ノ内基本金ノ利子ハ之レヲ基本金ニ繰入ルルモノトス
第二十一條　毎年度ノ剩餘金ハ之レヲ基本金ニ繰入ルルモノトス
第二十二條　寄附金ハ寄附者ニ於テ特ニ其用途ヲ指定セルモノノ外ハ之レヲ基本金ニ編入ス
第二十三條　毎年度ノ會計決算ハ會計審査員ノ審査ヲ經タル後之レヲ次年度ノ總會ニ於テ報告シ且ツ之レヲ會報ニ揭載ス
第二十四條　會費納附者及金品寄附者ノ氏名ハ其ノ金額又ハ品目ト共ニ之レヲ會報ニ揭載ス

基本金

第二十五條　本會ニハ基本金ヲ置ク

基本金ハ經常費ノ剩餘金及寄附金ヲ以テ之レニ充ツ

第二十六條　基本金ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之レヲ使用スルコトヲ得ス

支部

第二十七條　本會ハ連絡ニ資スル爲メ各地ニ支部ヲ置ク

支部規則ハ本則ニ準シ各地適宜ニ之レヲ定ム

規則變更

第二十八條　總會ノ決議ニヨルニ非サレハ本規則ヲ變更スルコトヲ得ス

附記

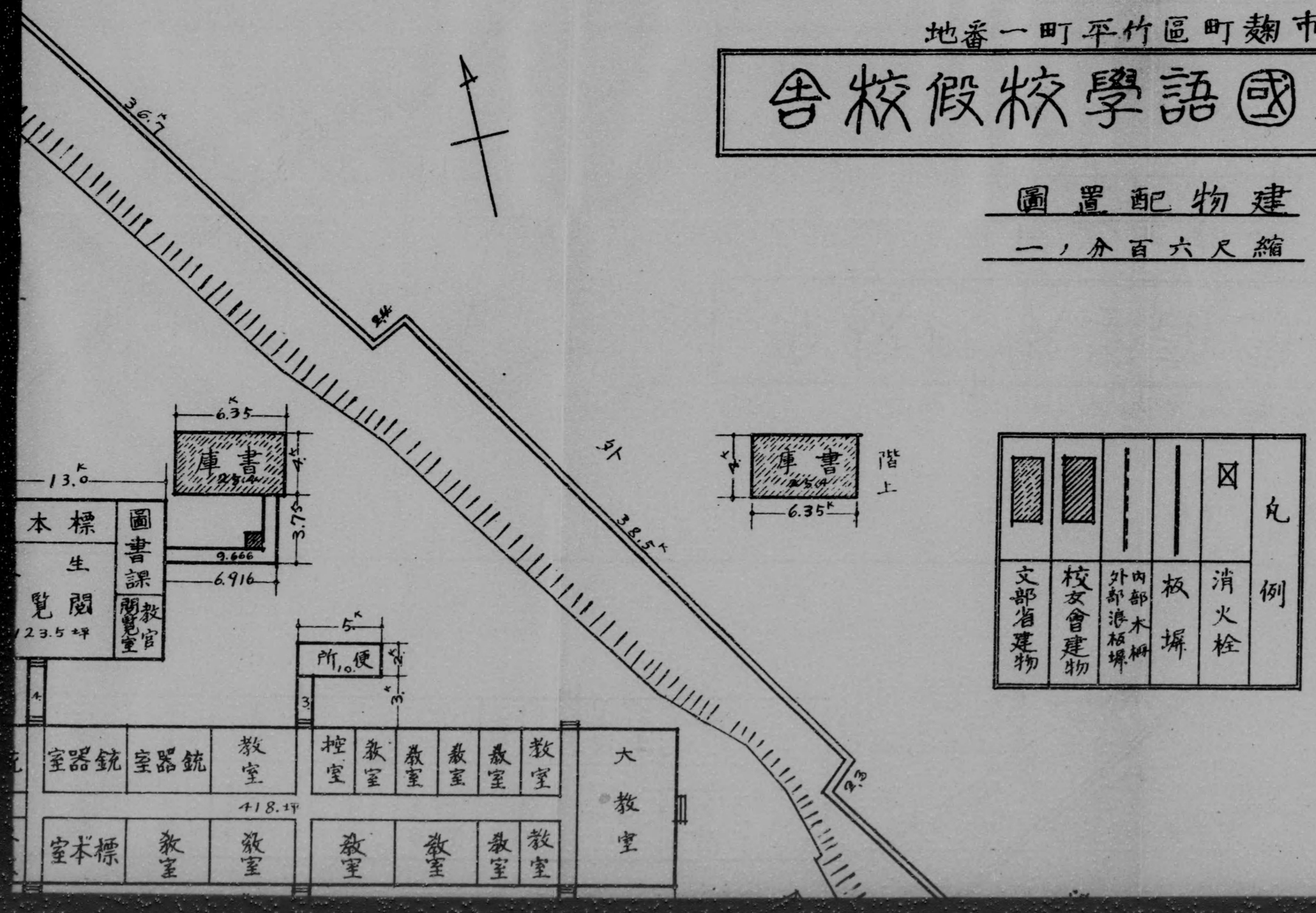
本會ノ事務所ハ當分ノ內東京外國語學校內ニ置ク

東京市麹町區竹平町一番地

東京外國語學校假校舍

建物配置圖

縮尺六百分ノ一

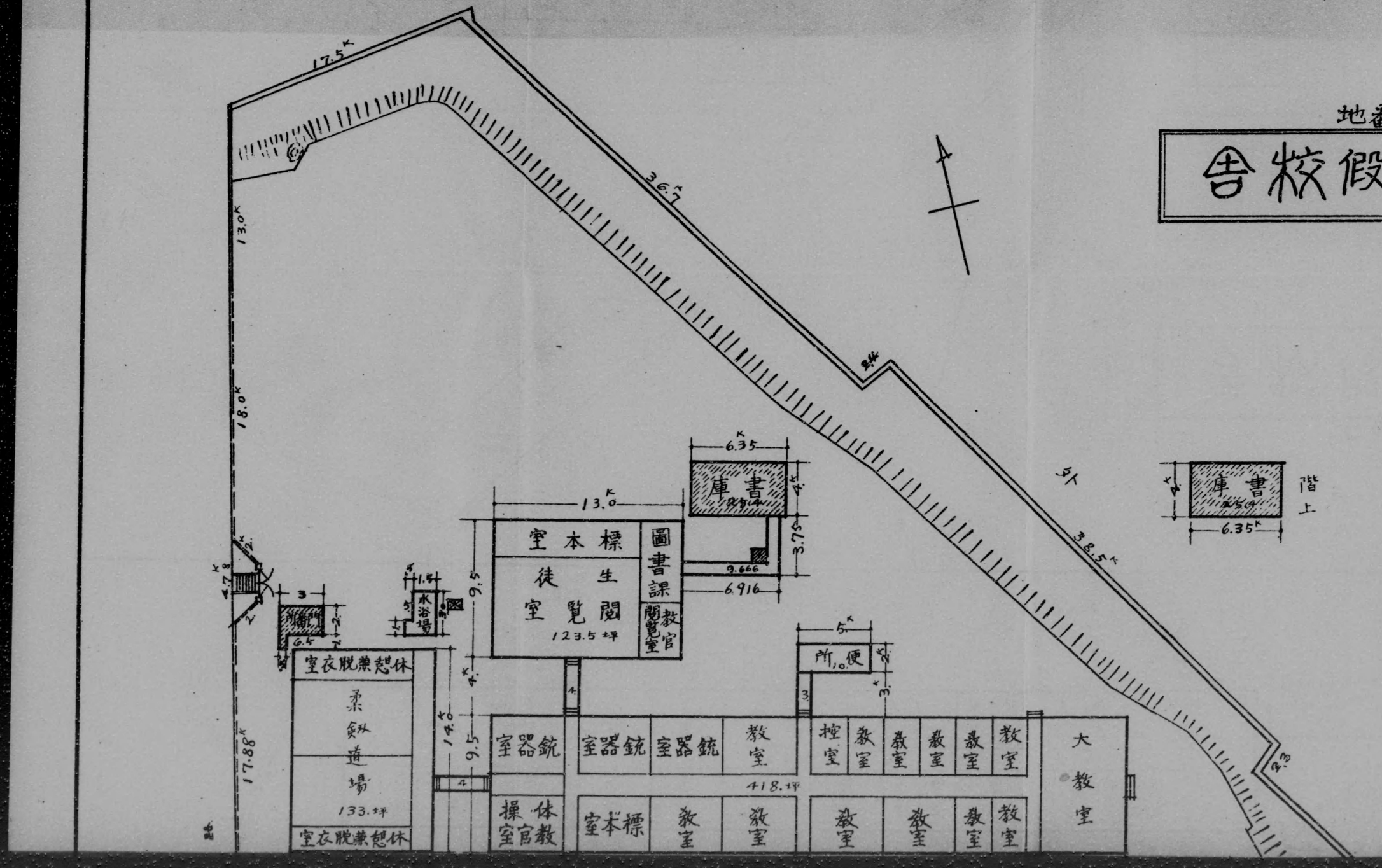


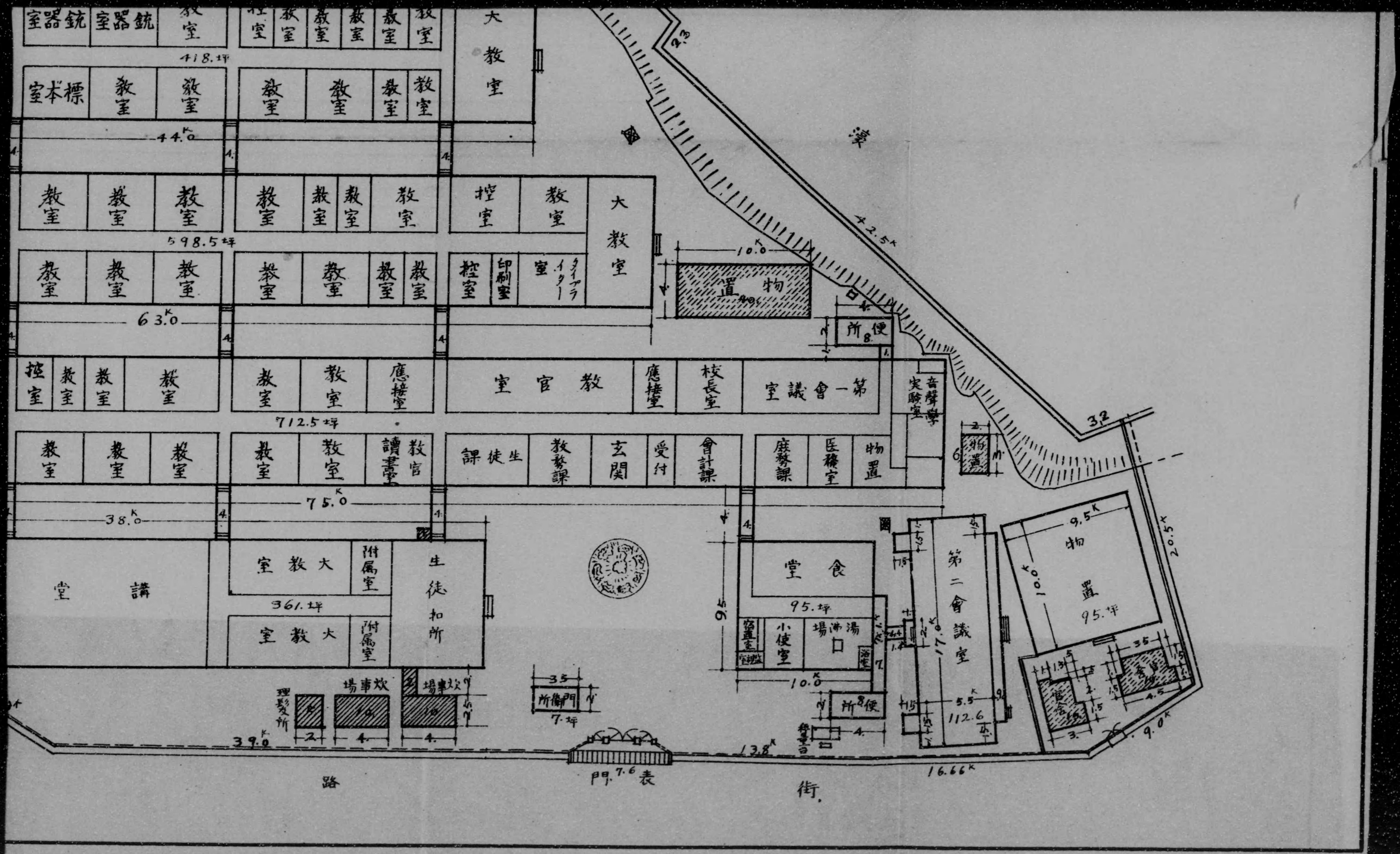
地番一町平竹

學校假校舍

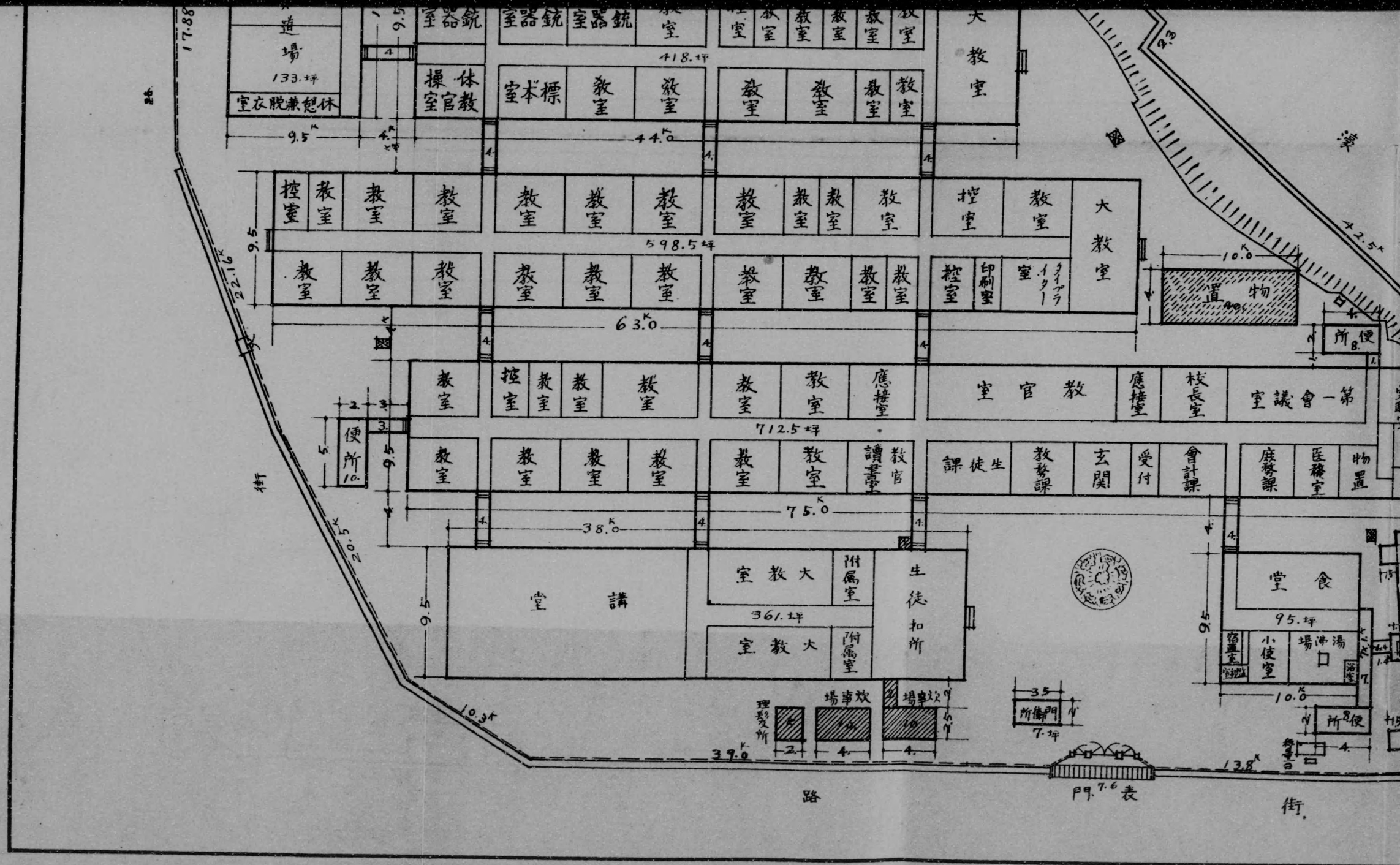
圖置配

一，分百

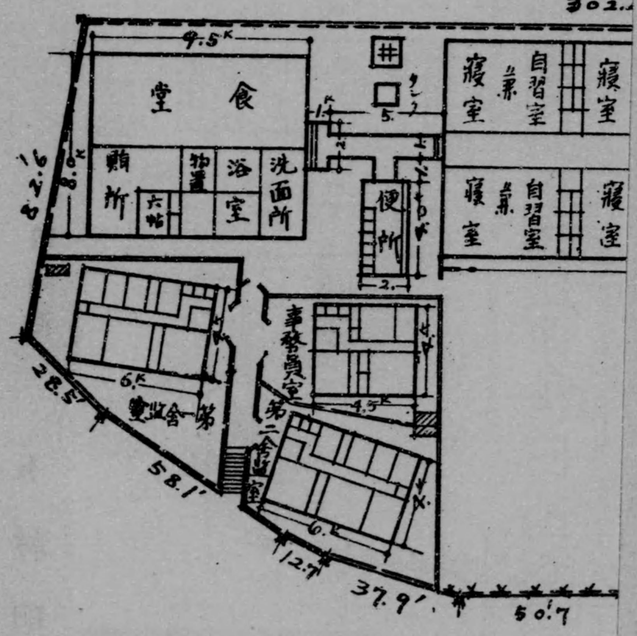




銃器室
銃器室
教室
控室
教室
教室
教室
教室
大教室
418.坪
標本室
教室
教室
教室
教室
教室
教室
44.0
教室
教室
教室
教室
教室
教室
教室
控室
教室
大教室
598.5坪
教室
教室
教室
教室
教室
教室
教室
控室
印刷室
タイプライター室
63.0
控室
教室
教室
教室
教室
教室
應接室
教官室
應接室
校長室
第一會議室
音聲學実験室
712.5坪
教室
教室
教室
教室
教室
教官讀書室
生徒課
教務課
玄関
受付
會計課
庶務課
医務室
物置
75.0
38.0
講堂
大教室
附属室
生徒扣所
361.坪
大教室
附属室
理髪所
炊事場
炊事場
39.0
門衛所
7.坪
表門
7.6
路
街
食堂
95.坪
小使室
湯沸場
10.0
便所
13.8
第二會議室
17.0
5.5
112.6
物置
95.坪
9.5
10.0
20.5
9.0
16.66
漢
42.5
10.0
物置
3.2



道場
133.坪
休憩兼脱衣室
体操室
教官室
標本室
教室
418.坪
大教室
控室
教室
598.5坪
印刷室
タイプライター室
置物
便所
教官室
應接室
校長室
第一會議室
712.5坪
生徒課
教務課
玄関
受付
會計課
庶務課
医務室
物置
講堂
大教室
附属室
生徒扣所
361.坪
食堂
95.坪
小使室
湯沸場
理髪所
炊事場
門衛所
7.坪
表門
路
街

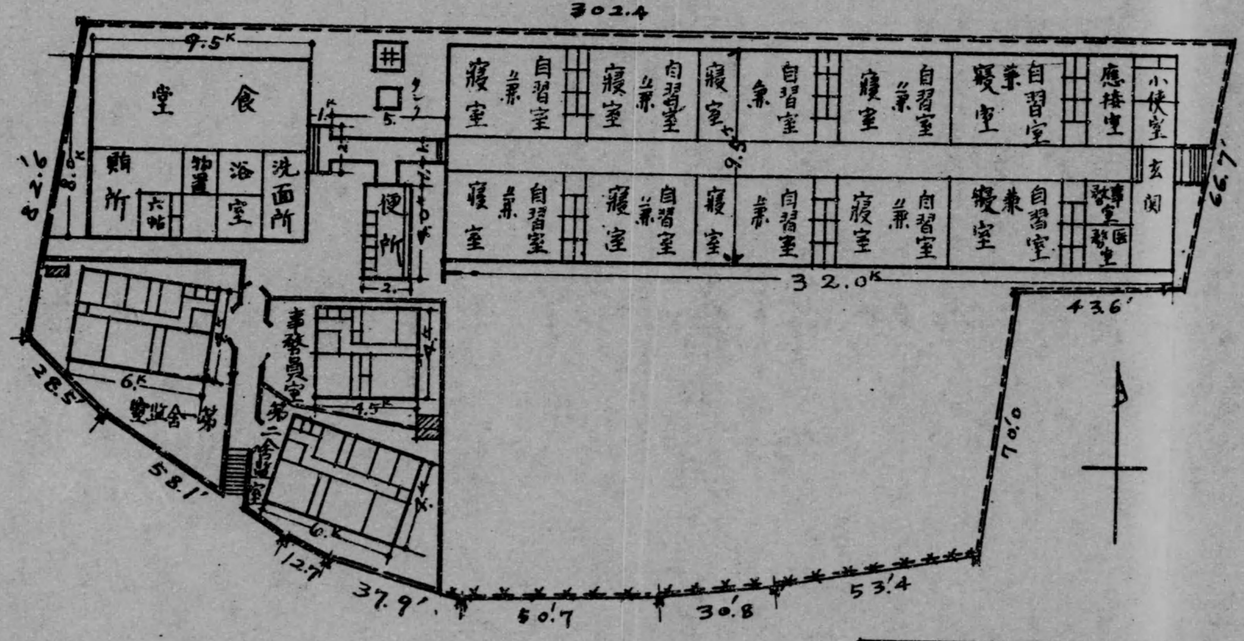


302.1
9.5K
食堂
鮪所
物置
浴室
洗面所
六帖
便所
自習室
寢室
寢室
自習室
寢室
寢室
事務員室
第二舍監室
第一舍監室
6.K
4.5K
6.K
8.0K
8.2.6
28.5
58.1
12.7
37.9
50.7

東京外國語學校假寄宿舍日新學寮

縮尺 六百分之一

敷地總面積 千參拾四坪〇合七勺
建物總坪數 四百六拾貳坪



凡例

木柵	
目隠板塀	
板塀	
鉄條網	

昭和七年十二月七日印刷
昭和七年十二月十日發行

東京市麹町區竹平町一番地
東京外國語學校
電話丸ノ内(23)一一一三番
六七二八〇番

東京市芝區田村町三丁目七番地一
印刷者 小林繁次郎

東京市芝區田村町三丁目七番地一
印刷所 小林印刷所
電話芝二〇六七番

293
1